LEDVisole

取扱説明書

地上デジタルハイビジョン
19型 液晶テレビ

品番 LCU1902GⅡ

このたびはVisole液晶テレビをお買い上げいただきまして、
まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明書に従って使用
してください。すべての説明には、従ってください。
お読みになったあとは大切に保管してください

CN06-2013.12-(1)

目　次

ご使用前に

はじめに 1
付属品 2
安全上のご注意 3
スタンドの取り付けかた 6
各部の名称
　リモコン 7
　前面 8
　側面 8
　上面 9
　背面 9
使用前の準備
　リモコンに乾電池を入れる 10
　B-CASカードを入れる 11
　ACアダプターをつなぐ 12
　アンテナ線をつなぐ 13
他の機器と接続する
　ビデオをつなぐ 14
　HDMIをつなぐ 15
　DVI端子機器をつなぐ 15
　パソコンをつなぐ 17

設定

チャンネルを設定する
　受信設定
　　地域設定 18
　　受信チャンネル自動設定 19
　　チャンネル追加設定 21
　　リモコン設定 22
　　チャンネルスキップ 23
　　受信レベル表示 24
　ダウンロードを行う 25
そのほかのデジタル設定をする
　機器設定
　　暗証番号設定 26
　　字幕・文字スーパーの設定 27
　　音声切換 28
　　番組表取得設定 29
　　番組情報を見る 29
　　番組表を見る 30

設定

そのほかのデジタル設定をする つづき
　各種情報表示
　　B-CASカード情報表示を見る 30
　　バージョン情報を見る 31
　　放送メールを見る 32
　テスト
　　B－CASテストをする 33
　　全設定消去 34

テレビを楽しむ

テレビ番組を見るとき 35
3桁入力での選局方法 36
お好み映像音声設定
　お好みの映像モードを選ぶ 37
　映像調整について 38
　音声調整について 41
音声多重放送を楽しむ 44
画面サイズの設定
　画面サイズの切り換え 45
PC入力時の画面調整 46
省エネ機能を使う 47
OSD設定 49
その他の便利機能
　チャンネル番号などを知りたいとき 51
　音を一時的に消したいとき 51
　オフタイマー設定のしかた 52
　字幕切換のしかた 52
　映像切換のしかた 52

情報ページ

故障かな！？と思ったら
　修理を依頼される前にお調べください 53
　地上デジタル放送のメッセージ一覧表 55
地上デジタル放送のチャンネル一覧表 57
地上デジタル放送について
　テレビ放送の種類 59
　地上デジタル放送について 59
　緊急警報放送（EWS）について 59
仕様 60
　対応信号タイミング(DVI-HDMIモード) 61
索引 62

はじめに

・この度は弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。本製品を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は大切に保管していただき、必要なときに再度お読みください。
・本製品の改造は感電や火災などの恐れがありますので行わないでください。
・この製品を使用できるのは日本国内に限ります。海外では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
・本製品の仕様は改良、改善のため予告なく変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

● 表示について

本取扱説明書のイラスト、画面表示などは、見やすくする為に拡大や簡略化しています。実際とは多少異なる部分があります。

● データ放送について

本製品にはモデム/ＬＡＮ端子は搭載されておりません。そのため双方向番組サービス等ご利用になれないサービスがあります。予めご了承ください。

● デジタル放送について

デジタル放送においては、受信状況の悪化や妨害ノイズの影響で、画面上にブロックノイズ(モザイク状のノイズ)が発生したり画面が消えて(ブラックアウト)しまう事があります。本製品にはデジタル放送の信号を制御する為に高度なソフトウェアを搭載しておりますが、その様な状況でご使用された場合、受信環境が改善されても、まれに操作を受け付けなくなったり、画面が消えたままになる事があります。このような時は電源プラグをコンセントから抜いて、10秒以上放置してから再度電源プラグをコンセントへ差し込んで動作を確認してください。

● アフターサポート

本製品をご使用中に調子が悪くなりましたら、まずは本取扱説明書53~55ページの「修理を依頼される前にお調べください」をご覧頂き、該当する項目のチェックをお願い致します。それでも症状が改善されない場合やご不明な点がございましたら弊社サポートセンターまでお気軽にお問合せ下さい。尚、お問合せの際には商品の型名をお知らせください。

● 液晶パネルの特徴について

・液晶パネルは製造上、非常に高精度な技術で作られており99. 99%以上の有効画素数を実現してますが、ごくわずかに画面の一部に光らない点(画素欠け)や周囲と異なる色の点灯したままの点(輝点)が存在する場合があります。これは故障ではありませんので予めご了承ください。
・液晶パネルは長時間同じ画像を表示していると残像(画面焼けの様な症状)が出たり、液晶パネルの寿命を縮めてしまう可能性があります。ご使用にならない時は必ず電源をお切りください。

● 本製品を廃棄、または他の人に譲渡するとき

・本製品の譲渡や廃棄の際の個人情報保護のため、放送やユーザー設定によって本機に保持された個人情報、デジタル受信設定の消去を行ってください。本取扱説明書34ページの「全設定消去」をご覧頂き、設定項目を工場出荷状態に戻してください。
・Ｂ-ＣＡＳ(ビーキャス)カードの登録廃止、登録名義変更などについては、(株)ビーエス コンディショナルアクセスシステムズにお問い合わせください。（カスタマーセンター　TEL:0570-000-250）
・ゴミ廃棄場で処分されるゴミの中にこの製品を捨てないでください。廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

免責事項

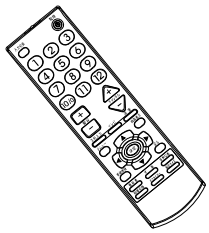
下記の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。

■ 地震や雷などの自然災害、火災、第三者の行為、その他の事項、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害。
■ 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な障害(事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など)。
■ 本製品を記載の注意事項を守らず誤った使用をした場合、お客様自身や他の人に死亡、重傷、傷害、物的損害、危害や財産等の損害。
■ 接続機器との組み合わせによる誤作動などから生じた損害。

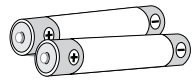
付　属　品

● お使いになる前に、パッケージの中に以下の付属品がすべて梱包されていることを確認してください。
万一欠品 破損などがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
なお、製品の形状はイラストと異なることがあります。

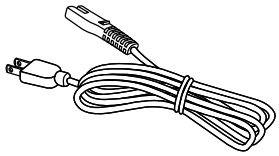
リモコン…１個



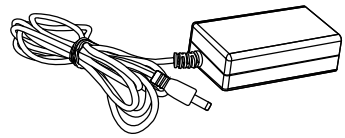
単４乾電池（動作確認用）. . . ２個



電源コード…１本

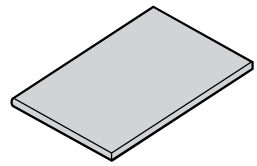


ＡＣアダプター…１個

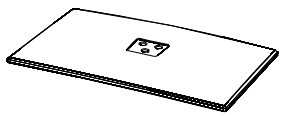


B-ＣＡＳカード(青)…１枚

取扱説明書(本書)…１冊



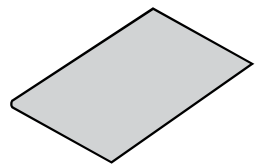
スタンドプレート…１個



スタンド用ネジ…３個

ドライバー…１本

保証書…１枚



注意

・付属の電池は動作確認用です。できるだけお早めに新しい電池とお取り換えください。
・アンテナケーブルは付属されていません。必要な長さに応じて別途ご準備ください。
・別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。
・外箱や梱包材は保管していただき、修理などの輸送時にお使いください。
Ｂ－ＣＡＳカードは使用許諾約款が記載された台紙に添付されています。開封すると使用許諾約款に同意したとみなされますので、開封時に使用許諾約款をよくお読みください。

安全上のご注意

■ 誤った取り扱いをしたときに生じる危険を、次のように区別して説明しています。

⚠警告	人が死亡、または重傷を負う可能性があります。
⚠注意	人が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害が発生する可能性があります。

■ 図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わない	絶対に触れない	絶対にぬれた手で触れない
絶対に分解や修理はしない	絶対に浴室やシャワー室では使用しない	絶対に水にぬらさない
必ず電源プラグをコンセントから抜く	必ず指示に従い行う	高圧注意

⚠警告

電源プラグは容易に手が届く場所の電源コンセントに差し込んでください。

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐに抜く！！

画面が映らない、音声が出ない時や発煙、異臭、異音が発生したときは使わない

火災・感電の原因となります。

異常な状態が継続・悪化していないことを確認して、販売店にご相談ください。

使用禁止

テレビを落としたり、キャビネットを破損したときは使わない

火災・感電の原因となります。

破損した部位に振れるとケガ等の恐れがありますのでご注意ください。

使用禁止

水をかけない

テレビの中に水などが入ると、火災や感電の原因となります。

水ぬれ禁止

万一入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

異物を入れない　特にお子様にご注意ください

通風孔から金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災・感電の原因となります。

禁　止

万一入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

⚠警告

テレビに乗ったり、ぶらさがったりしない

特にお子様にご注意ください。
落下や転倒をすることで、
破損や故障、ケガの原因になります。

禁　止

壁掛け工事は専門業者に依頼する

壁掛け工事が不完全ですと、
落下やネジ 金具の破損から、
本機の破損や故障、ケガの原
因になります。

専門業者
に依頼

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電の原因となります。

ぬれた手禁止

電源コードを傷つけない

傷つけたり、延長するなど加工
したり、加熱したりしない。重
いものをのせたり、熱器具に近
づけたり、むりに引っ張らない。
コードが破損して、火災・感電
の原因となります。

傷つけ禁止

風呂やシャワー室では使用しない

屋外や浴室など、水のかかるおそ
れのある場所には置かない。

水気の多い場所での使用は火災・
感電の原因となります。

浴室禁止

本体や付属品のＡＣアダプターの分解や改造はしない

内部には電圧の高い部分があり、
さわると感電の原因となります。
また、けが・火災の原因となり
ます。

内部の点検・調整・修理は販売店
にご相談ください。

分解禁止

雷が鳴り出したら、アンテナ線やプラグに触れない

火災・感電の原因となります。

接触禁止

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

電源プラグにほこりがついたり
コンセントの差し込みが不完全
な場合は、火災の原因となりま
す。

ほこりを取る

振動のある場所や不安定な場所に置かない

落ちたり倒れたりして、けがの原
因となります。

禁　止

電源は、交流１００Ｖを使う

交流１００Ｖ電源以外で使用すると
火災・感電の原因となります。

１００Ｖ

上にものを置かない

金属類や、花びん・コップ・化粧
品などの液体が内部にはいった場
合、火災・感電の原因となります。
重いものなどを置かれて落下した
場合、けがの原因となります。

上載せ禁止

本機付属のＡＣアダプターと電源コードを使用する

付属のもの以外も使用したり、
他の機器に使用すると、発火・
発煙・発熱の原因となります。

指　示

⚠注意

空気孔(通風孔)を塞いだ状態で使用しない

押入れ、本箱などに入れた状態で使用しない

あお向けや横倒し、逆さまにしない

湿気やほこりの多い所、湯煙や湯気の当たるところに置かない

火災・感電・故障の原因となります。

直射日光の当たるところや熱器具のそばに置かない

キャビネットが変色、変形などの劣化をおこす原因となります。

設置の際は壁から離す

表示部の角度を調整するときは、片方の手でスタンド部を押さえながら表示部を傾ける

手や指がはさまれてけがの原因となります。
また無理に傾けると転倒してけがの原因となります。

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

接続線をつけたまま移動しない

火災・感電の原因や、つまずいてけがの原因となります。

液晶画面に強い衝撃を与えない

パネル割れやけがの原因となります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らない

コードを無理に引っ張ると電源コードが裂けたり引っ張ると傷がつき、感電・火災の原因となります。

リモコンを長期間ご使用されない場合は電池を取り出す

入れたままにされますと、液漏れ等により故障の原因となります。

電源プラグは確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災や感電の原因となります。

本機を拭くなどのお手入れの際には、電源プラグを抜く

感電の原因となります。

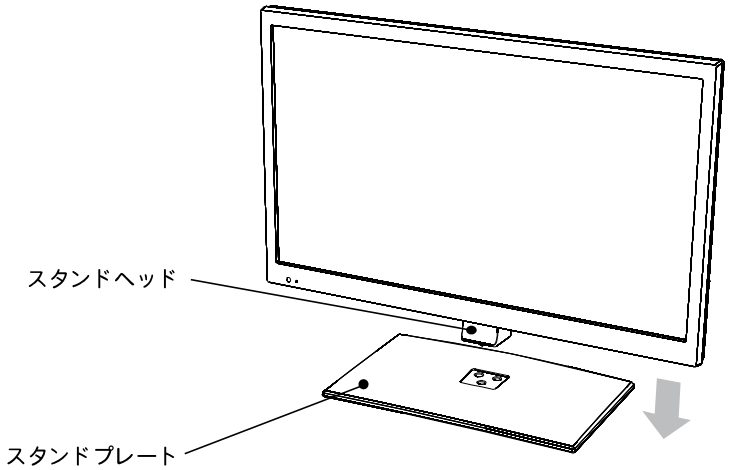
タコ足配線をしない

火災・感電の原因となります。

長期間の旅行、外出のときは電源プラグをコンセントから抜く

スタンドの取り付けかた

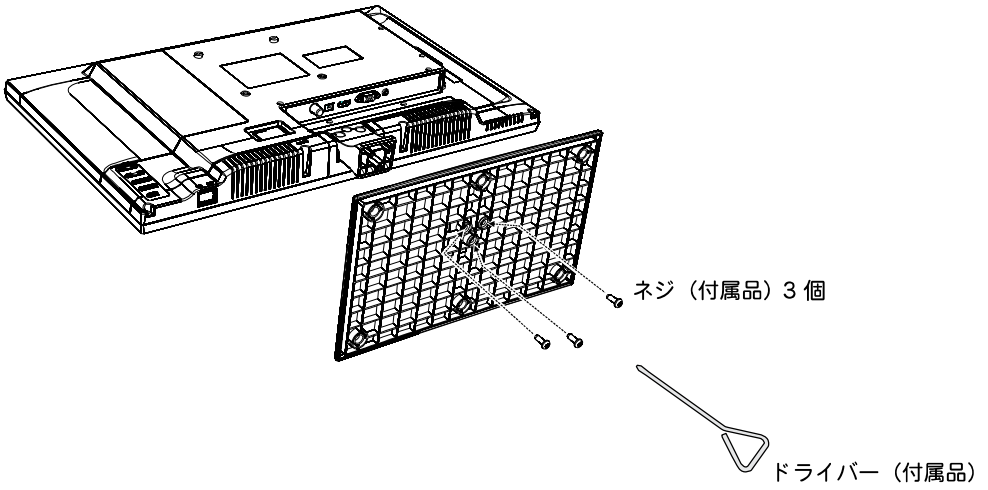
1 スタンドプレートは箱から取り出し、図のように矢印の部分をパネルの方に向かって本機背面のスタンドヘッドの取り付け部分に差し込んでください。



2 スタンドプレートをスタンドヘッド取り付け部に合わせて差し込んだ後に、ネジをドライバーでスタンドプレートに締めます。

※組み立て設置上の留意点:

- スタンドプレートを安全に正しく取り付けるために、マニュアルに従って、付属品のドライバーを使用してください。
- スタンドプレートを取り付けるとき、ネジ穴の緩みなどを防ぐため、電動ドライバーなどを使用しないでください。

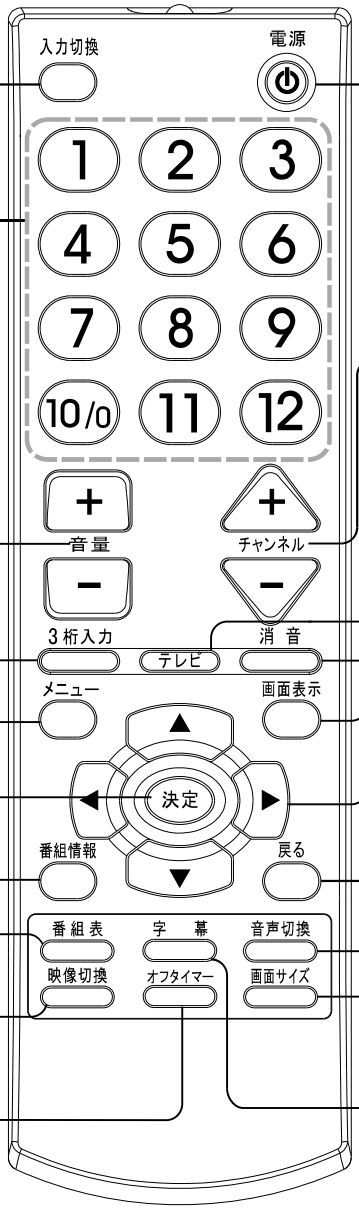


3 スタンドを外したい場合は、9ページ「スタンドの外しかた」をご覧ください。

各部の名称

ご注意：本取扱説明書に掲載している画面表示は説明のものであり、実際の表示とは多少異なります。

リモコン



入力切換 ☞P14
- 入力を切り換えます。

数字ボタン
- チャンネルを直接選択したり、数字が必要な設定で数字を入力します。

音量＋/－ ☞P35
- 音量を調整します。

３桁入力 ☞P36
- ３桁チャンネル番号を入力して放送やＣＡＴＶチャンネルを直接選択するときに使います。

メニュー
- 各種設定が行えるデジタル設定を表示します。

決定
- 選んだ項目を決定します。

番組情報 ☞P29
- 地上デジタル放送を視聴中に番組の情報を表示します。

番組表 ☞P30
- 番組表を表示します。

映像切換 ☞P52
- 複数の映像がある場合、映像を切り換えます。

オフタイマー ☞P52
- 押すたびにオフ、15分、30分、60分、90分、120分の設定ができます。

電源 ☞P35
- 電源 オン/オフ（待機状態）を切り換えます。

チャンネル＋/－ ☞P35
- 放送チャンネルを順/逆で選局します。

テレビ ☞P18
- このボタン一つで外部入力画面からテレビ視聴画面へ復帰します。

消音 ☞P51
- 音を一時的に消します。もう一度押すか、音量＋/-を押すと消音が解除されます。

画面表示 ☞P51
- 現在視聴しているチャンネルや番組の情報が表示されます。

カーソル▲・▼・◀・▶
- 項目を選びます。

戻る
- １つ前の画面に戻ります。

音声切換 ☞P44
- 複数の音声がある場合、音声を切り換えます。

画面サイズ ☞P45
- お好みの画面サイズを選べます。地上デジタル放送視聴時には操作できません。

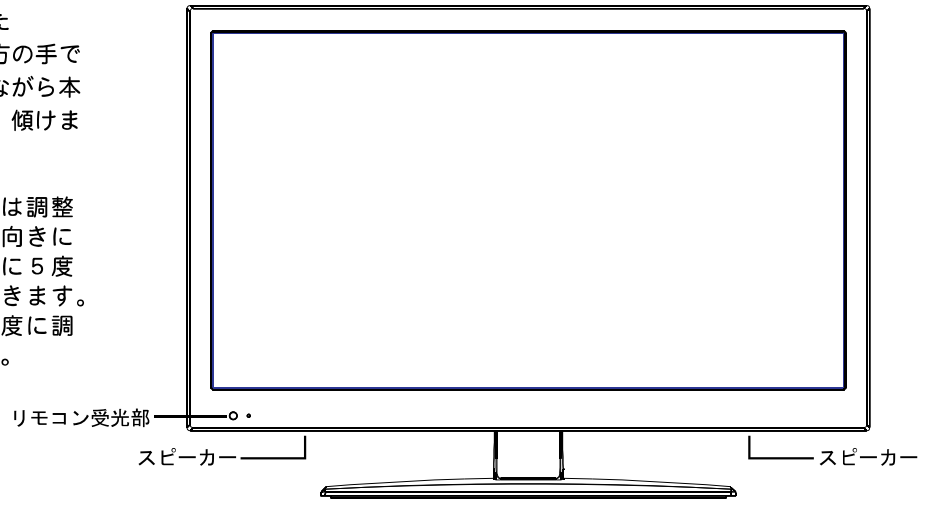
字幕 ☞P52
- デジタル放送の字幕表示を切り換えます。

各部の名称 っづき

前面

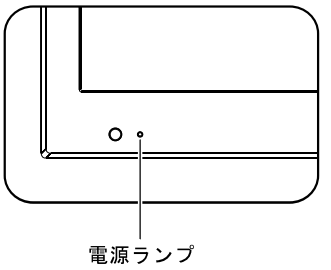
● 角度調整のしかた
スタンド部を片方の手でしっかり押さえながら本体上端部を持ち、傾けます。

● 左右回転方向には調整できません。上向きに１０度、下向きに５度の範囲で調整できます。視聴しやすい角度に調整してください。

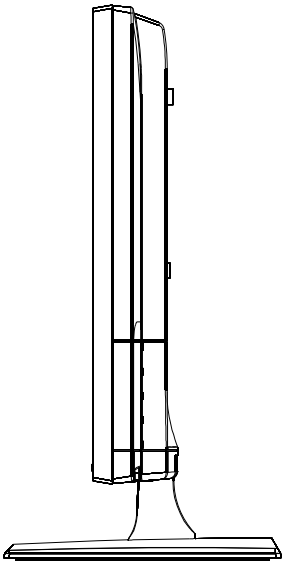


電源ランプ

赤点灯… 待機状態（スタンバイ）本体やリモコンの電源ボタンを押すと起動できます。
橙点灯… 機能待機（EPGなどを取得するため）
緑点灯… 電源起動状態　テレビの視聴ができます。
赤点滅… 更新ソフト等を放送局からダウンロードしています。電源をコンセントから抜かないでください。故障の原因になります。テレビを視聴する場合は、赤点滅が終了してから操作してください。
橙点滅… PC入力の場合は、無信号状態が約15秒間続くと、バックライトが消灯し、電源ランプ(燈)が点滅します。PC入力信号があれば、直ちに立ち上がります。



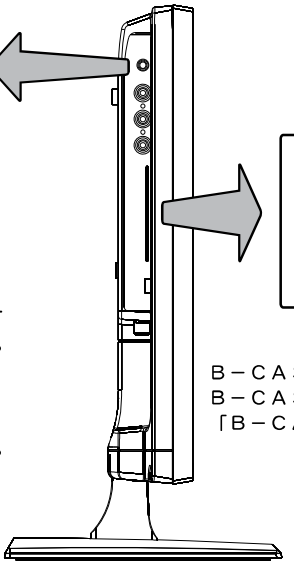
側面



【右側面】

ヘッドホン端子

●ヘッドホンで音声を聞くときにヘッドホンのプラグを接続します。
●ヘッドホンを使用しているときは、本体スピーカーから音声が出力されません。
●使用出来る端子は、長さ約1.5cm直径3.5mmミニステレオヘッドホン端子です。端子部分の長さが短いと音声が聞こえない、片方でしか聞けない場合があります。端子部分が長いと音が聞こえない、端子部分が破損する場合がありますので注意してください。



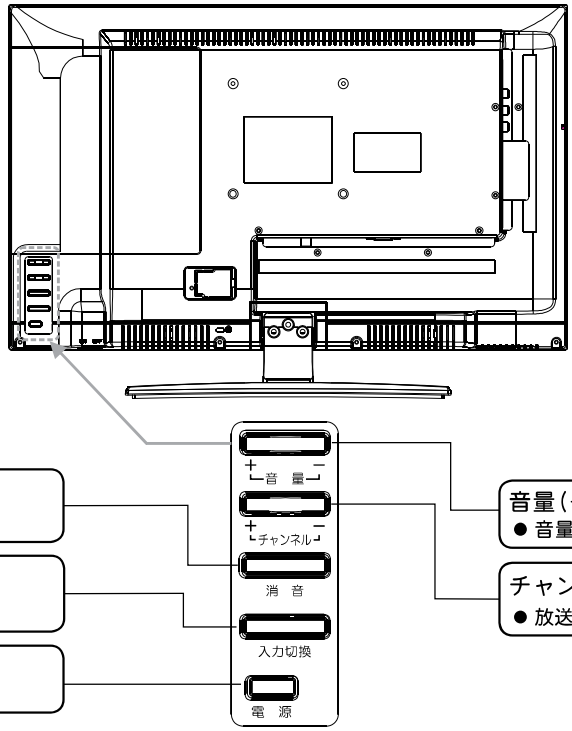
【左側面】

Ｂ－ＣＡＳカードの挿入口
Ｂ－ＣＡＳカードを使用する前に、１１ページ「Ｂ－ＣＡＳカードを入れる」をご覧ください。

各部の名称っづき

上面

【テレビ操作部】



消音ボタン
● 音を一時的に消します。

入力切換ボタン
● 入力を切り換えます。

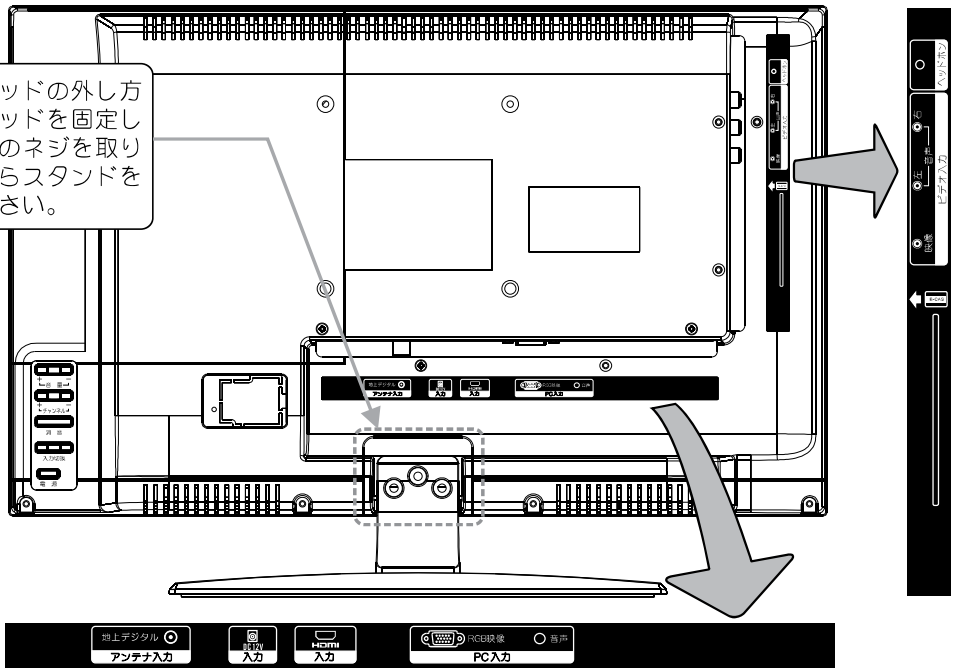
電源ボタン
● 電源を入/待機にします。

音量(＋・－)ボタン
● 音量を調整します。

チャンネル(＋・－)ボタン
● 放送チャンネルを順/逆で選局します。

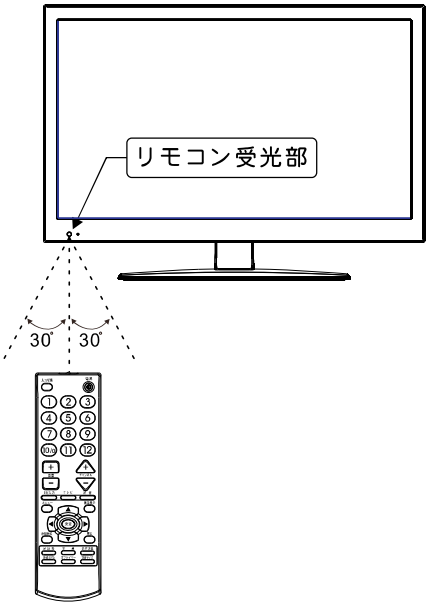
背面

● スタンドヘッドの外し方
スタンドヘッドを固定している４本のネジを取りのぞいてからスタンドを外してください。



リモコンに乾電池を入れる

リモコン使用上のご注意



- リモコンは本体の受光部に向けて操作してください。
- 水に濡らしたり湿度の高いところに置いたりしないでください。
- 分解しないでください。
- リモコン送信部には衝撃を与えないでください。
- 付属の単４形乾電池は動作確認用のものです。
  ご使用になる場合は、新しい単４形乾電池を別途ご用意ください。
- リモコンの受信範囲
  右図のようにテレビのリモコン受光部から左右３０度以内の角度距離５ｍ以内で使用してください。上下の角度がある状態で操作しようとすると信号が届かない場合があります。
  できるだけリモコン受光部正面から正対した状態でリモコン操作を行ってください。
- リモコンと受光部の間に障害物（置物、雑誌、壁、扉などの遮蔽物）があると信号が届きません。リモコンで操作できない場合は障害物を取り除いてください。

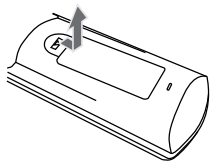
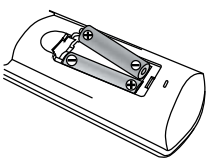
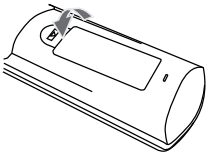
⚠ 乾電池使用上のご注意

液漏れ、破裂、過熱による事故を避けるため、下記の注意事項を必ず守ってください。

- 乾電池は充電できません。
- アルカリ電池、アルカリマンガン乾電池以外はできるだけ使用しないでください。
- 乾電池の液が漏れたときは素手で触れないでください。
- 充電、加熱及び分解したり、火や水の中に投入しないでください。
- 電池の廃棄につきましては、地方自治体の規則等に従ってください。
- 種類の違う乾電池、または新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池を使い切ったときや、一ヶ月以上使用しないときは、リモコンから乾電池を取り出してください。
  乾電池を製品に入れたままにした場合、過放電により液漏れを起こすおそれがあります。
- 液漏れが起こったときは、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- 乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池は使用しないでください。
- 乾電池の寿命はご使用状態によってかわります。リモコンが動作しにくくなったり、操作できる距離が短くなった場合、２個とも新しい乾電池に交換してください。

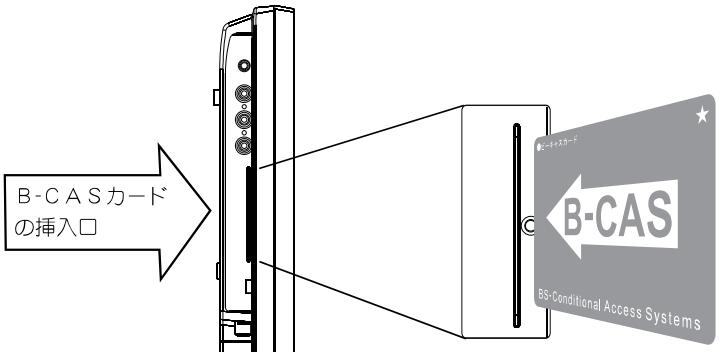
乾電池の入れかた

・単4形乾電池を2個使用します。
・カバーを外すには、指で矢印の指示部分を押してから、上の方向に電池カバーを開けてください。
・極性表示 ⊕ と ⊖ を間違えないように入れ、カバーを閉めてください。

1 カバーを開ける	2 ⊕⊖の表示どおりに入れる	3 カバーを元どおりに閉める
		

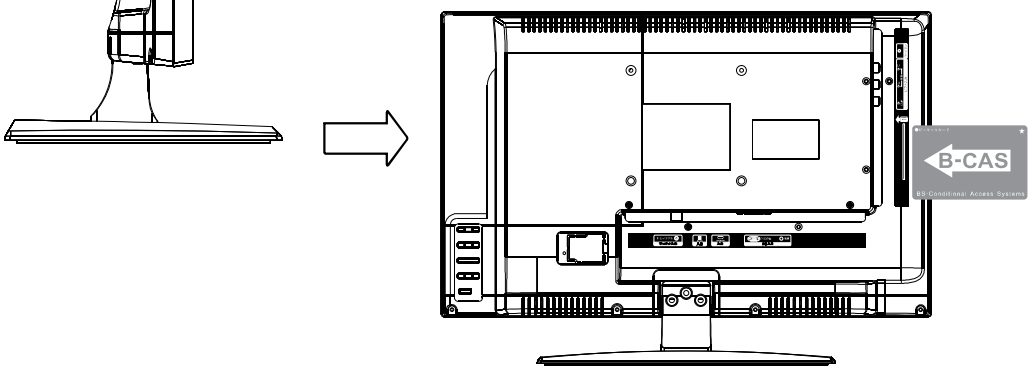
B-CASカードを入れる

● デジタル放送を視聴するときには、Ｂ－ＣＡＳカードを必ず挿入してください。
● 同梱のＢ－ＣＡＳ(ビーキャス)カードは、放送の受信や「放送局からのお知らせ」の受信などに必要です。
● Ｂ－ＣＡＳカードは本機に入れたままご使用ください。
● Ｂ－ＣＡＳカードは使用許諾約款が記載された台紙に添付されています。開封すると使用許諾約款に同意したとみなされますので、開封時に使用許諾約款をよくお読みください。
● 万が一破損、汚損があった場合や紛失、盗難にあった場合は、下記へご連絡ください。
（株）ビーエス コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター　TEL：0570－000－250
Ｂ－ＣＡＳカードは「Ｂ－ＣＡＳ」の文字が本体背面側を向いている状態で矢印の方向に奥まで確実に挿入してください。



● 奥までしっかりと差し込んでください。カードが折れ曲がらないように注意してください。

（カードは２cm程度はみ出します）



Ｂ－ＣＡＳカード取扱上のご注意

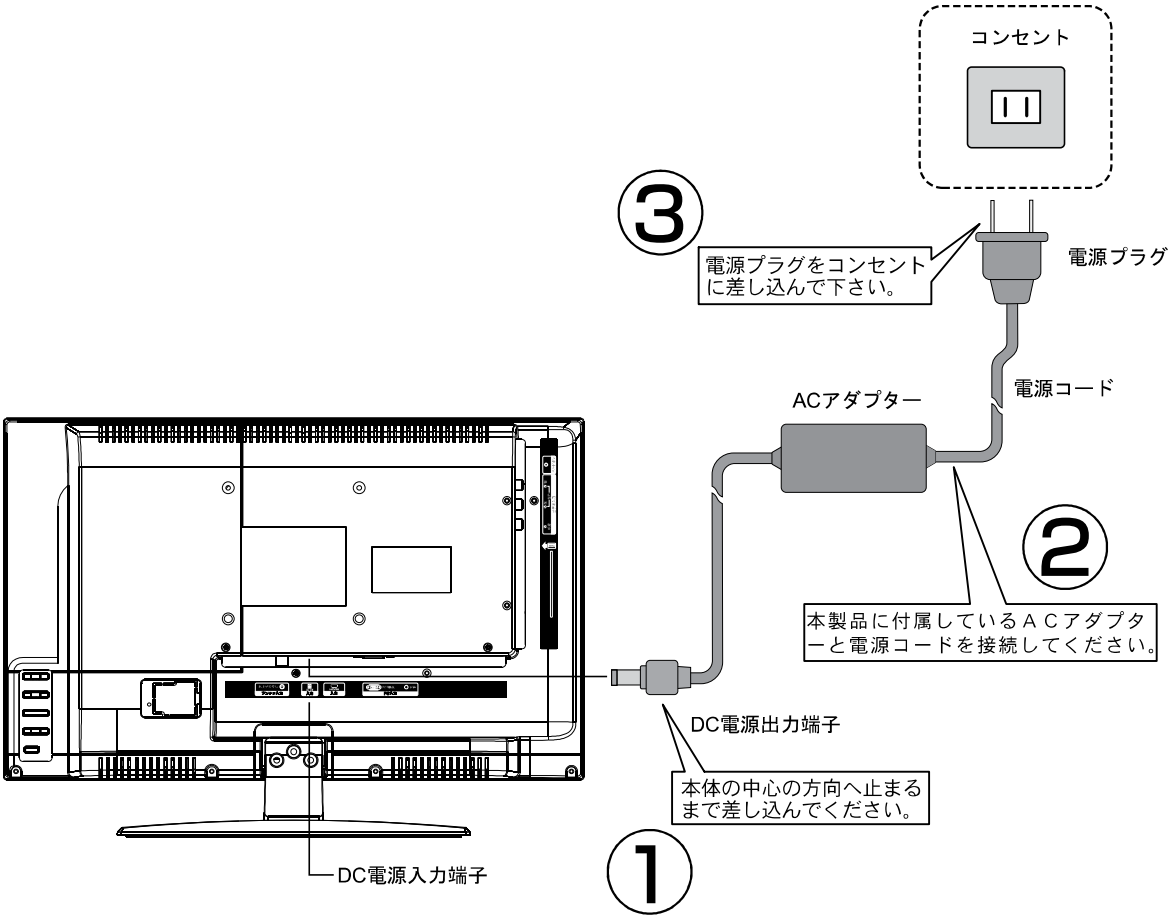
・分解、加工をしないでください。
・ＩＣ（集積回路）部には手を触れないでください。
・重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
・水をかけたり、ぬれた手でさわったりしないでください。
・折り曲げたり、傷つけたり、変形させたりしないでください。
・地上デジタル放送を視聴中にＢ－ＣＡＳカードを抜き差しすると故障の原因になります。
・裏向きや逆方向で挿入しないでください。挿入方向を間違えるとＢ－ＣＡＳカードが機能せず視聴できません。
・Ｂ－ＣＡＳカードを抜く場合は、電源プラグをコンセントから抜き、ゆっくりとＢ－ＣＡＳカードを抜いてください。

ＡＣアダプターをつなぐ

ＡＣアダプターと電源コードを差し込む

● 下記の①、②、③の順で接続して下さい。

・本製品に付属同梱されているＡＣアダプターと電源コードを使用して接続してください。
・他製品用のＡＣアダプターを使用すると故障の原因になります。



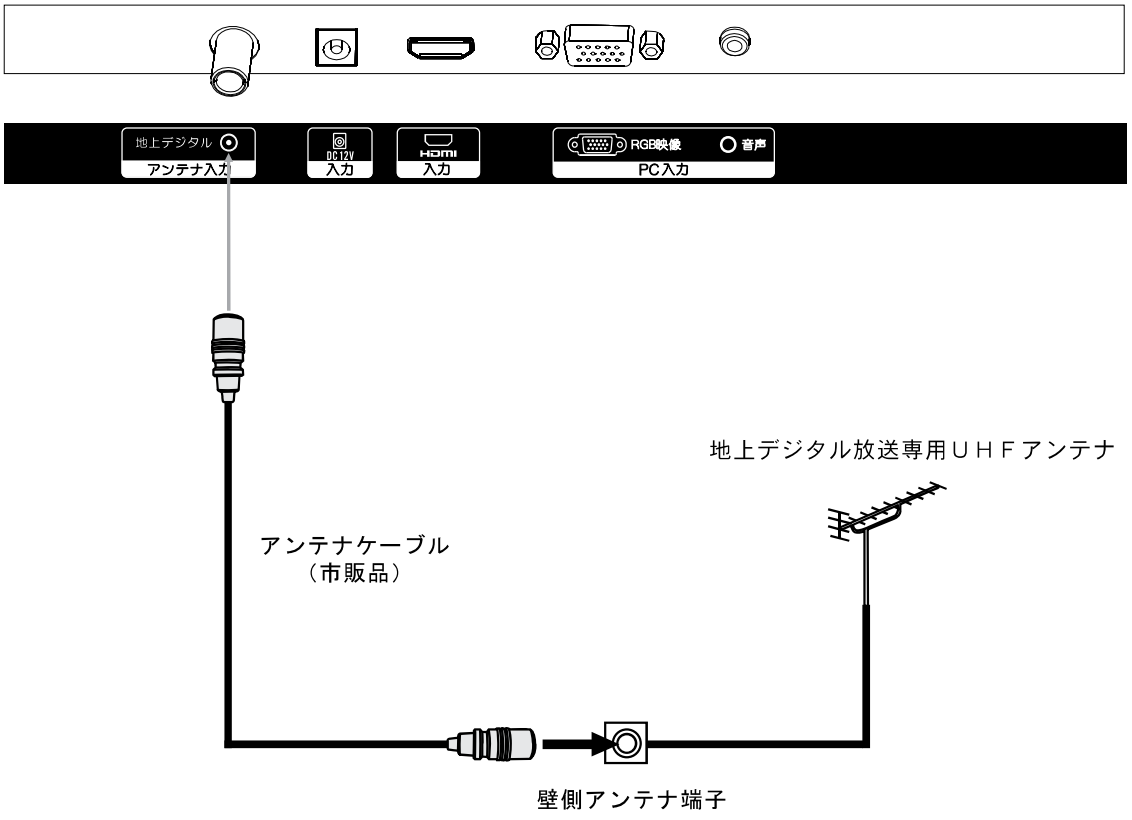
■ 本機は、主電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ/ＡＣアダプターと電源コードの接続部分/ＤＣ電源出力端子）へ容易に手が届くようにしてください。
■ 付属品リストのＡＣアダプターと電源コードをご確認ください。
■ ＡＣアダプターを本体に接続するときは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。長時間ご使用にならないときは必ずＡＣアダプターおよび電源プラグを本機とコンセントから抜いてください。

アンテナ線をつなぐ

本機で地上デジタル放送を視聴していただくためには、必ずアンテナを接続してください。
下図を参照して、アンテナケーブルをテレビへ接続してください。

接続のしかた

地上デジタルアンテナ線（ＵＨＦ）接続のしかた



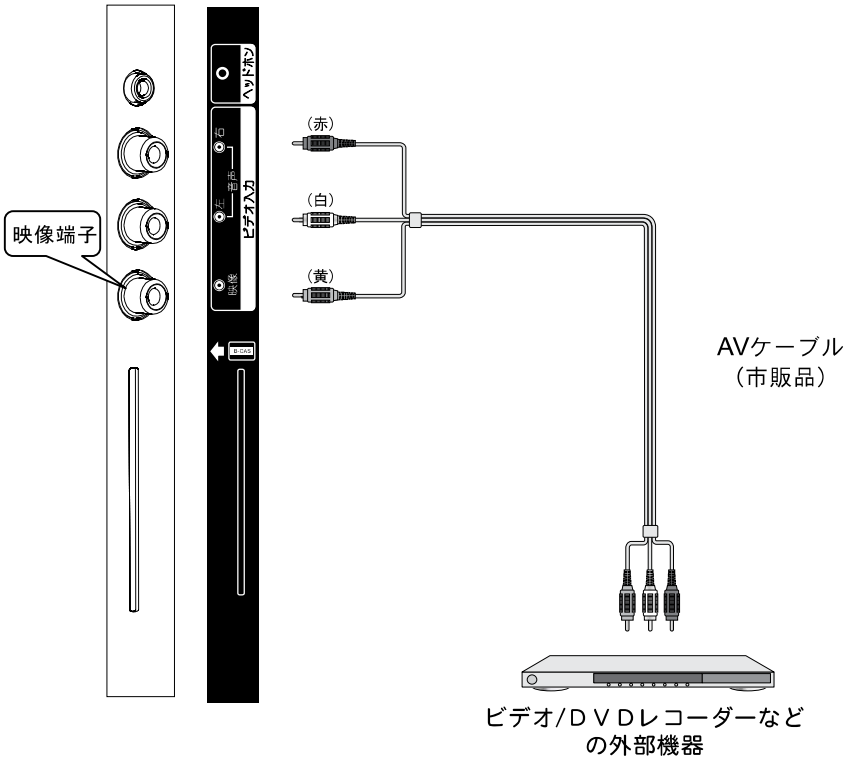
お願い

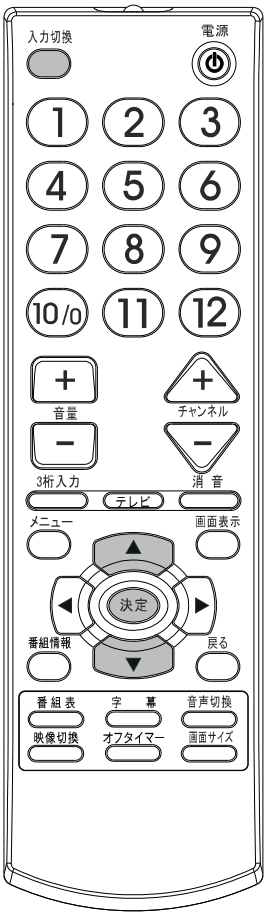
- アンテナ設置工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 接続するときは必ず本体および接続機器の電源を切ってください。
- 平行フィーダー線を使用すると受信状態が不安定になることがあり、妨害電波を受けやすくなります。ＵＨＦアンテナ線は同軸ケーブルをおすすめします。
- テレビのアンテナ入力端子への接続にはＦ型コネクターを使用してください。
- アンテナ線をデジタル機器に近づけないでください。
- ＣＡＴＶケーブルと接続するときは、伝送方式や接続についてケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
- ＵＨＦアンテナは定期的に点検及び交換してください。屋外アンテナは、傷みやすく性能が低下します。特に煤煙の多い所、風雨にさらされる所では、アンテナが早く傷みます。映りが悪くなった場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
- １本のアンテナに対してテレビ等を３～４台以上接続していると、テレビ放送信号が弱くなり、正常な視聴が出来なくなる場合があります。その場合はブースターの設置やアンテナの増設などの対策を行ってください。

他の機器と接続する

ビデオをつなぐ

市販されているＡＶケーブル（映像／音声ケーブル）を使用して他の機器と接続する場合には「ビデオ入力」端子を使用します。ケーブルと同じ色の端子へ接続してください。





【使いかた】

1 テレビとビデオの電源を入れる。

2 リモコンの 入力切換 を押して、入力機器選択のリストを表示させる。

で「ビデオ」を選び、決定 を押す。

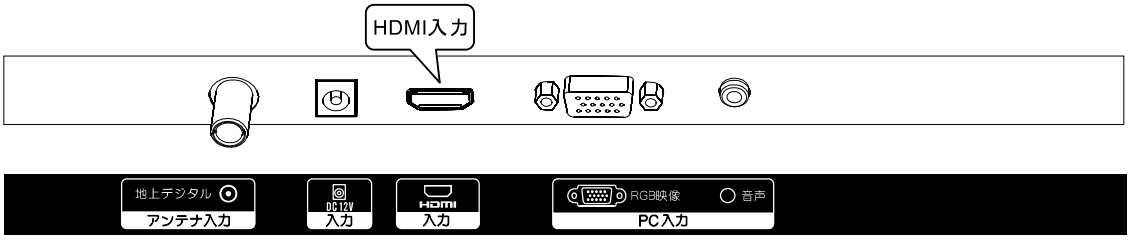
・本体上面の入力切換ボタンでも押すたびに下記のように入力機器が切り換わります。
テレビ⇒ビデオ　⇒ＰＣ⇒ＨＤＭＩ

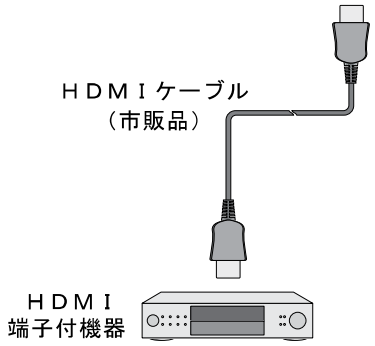
3 ビデオやＤＶＤレコーダーを操作する。

他の機器と接続するつづき

ＨＤＭＩをつなぐ

・ＨＤＭＩ端子とは、テレビと接続機器をデジタル信号でつなぐことができるインターフェイス(接続システム)です。
・ＨＤＭＩ端子付きの機器とテレビ間を一本のケーブルで接続すると、デジタル映像/音声信号を高品質のまま伝送することができます。



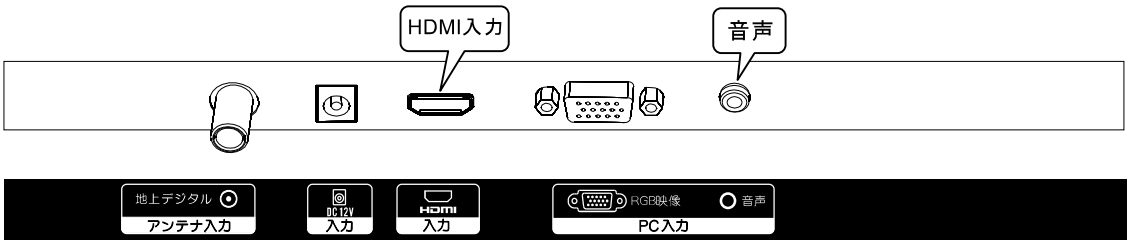


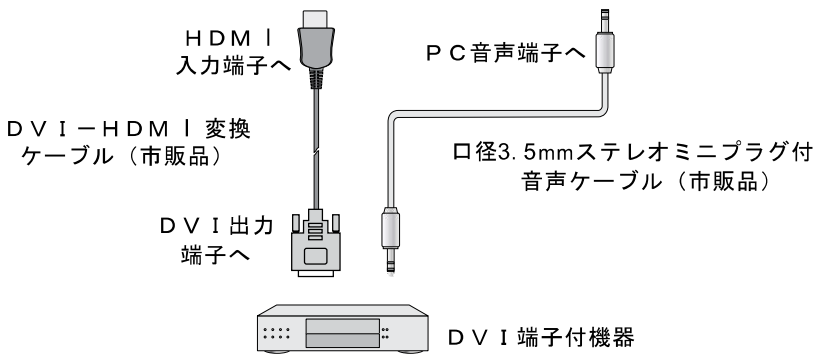
HDMI端子との接続

■ HDMI端子付機器との接続は、HDMI認証済みのケーブルをご利用ください。
SONY製HDMIケーブルを推奨します。
■ HDMI機器との相性により音声が出ない場合があります。その場合は、HDMIケーブルは映像として利用し、音声に関してはDVI端子機器との接続と同様に接続することをお勧めします。

ＤＶＩ端子機器をつなぐ

・ＤＶＩ－ＨＤＭＩ変換ケーブルを使えば、ＤＶＩ端子付の機器もつなげます。また、ＤＶＩ端子からは音声が出力されないので、下図のように音声ケーブルでつなぐ必要があります。





他の機器と接続するっづき

ＤＶＩ 端子との接続

■ ＰＣにおいては、ＤＶＩ(またはＨＤＭ Ｉ)出力のついたグラフィックスボードをＰＣに取付けることで、本機で対応可能な信号フォーマットを出力できる場合に限り表示できます。ＰＣ側の解像度設定によっては表示できない場合があります。この場合はＰＣ側の設定を調整していただくか、他の入力/接続方法（次ページのＲＧＢ接続など）をお試しいただき、視聴可能な方法でご使用ください。

【使いかた】

1 テレビと機器の電源を入れる。

2 リモコンの 入力切換 を押して、入力機器選択リストを表示させる。

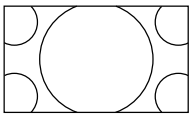
で「ＨＤＭＩ」を選び、決定 を押す。

・本体上面の入力切換ボタンでも押すたびに下記のように入力機器が切り換わります。
テレビ⇒ビデオ ⇒ＰＣ⇒ＨＤＭＩ

3 ＨＤＭＩ/ＤＶＩ端子付機器を操作する。

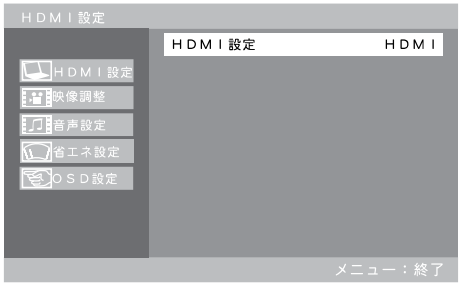
お知らせ

・画面の周りの映像がカット（オーバースキャン）された場合は、下記のように設定してください。

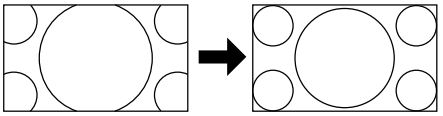


1 メニュー を押し、 で「ＨＤＭＩ設定」を選び、決定 または ▶ を押す。

2 決定 または ▶ を押す。



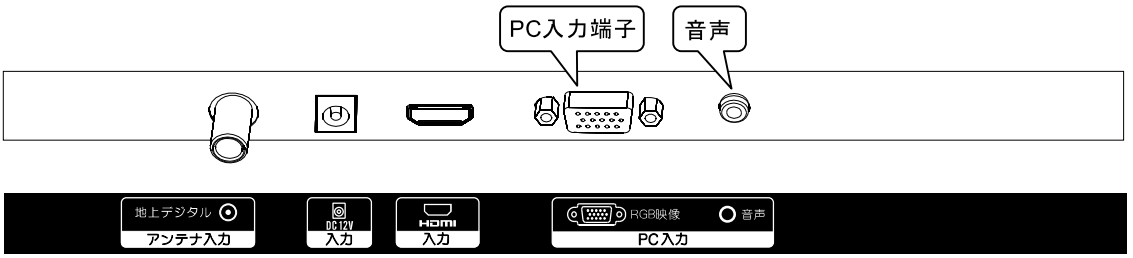
3 で「ＤＶＩ」を選び、決定 を押す。



4 操作終了する場合は、メニュー を押し、通常画面に戻す。
１つ前に戻る場合は、戻る を押す。

他の機器と接続するつづき

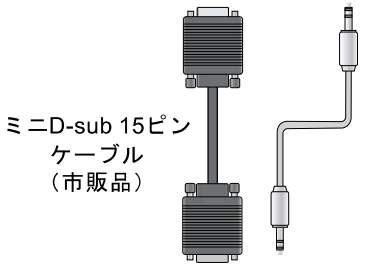
パソコンをつなぐ

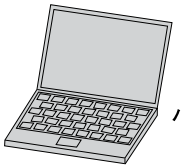


※ このテレビには、アナログ RGB（D-sub15 pin）端子を搭載していますので、お手持ちのパソコンを接続することができます。

・対応出力フォーマットはお手持ちのパソコンの仕様をご確認ください。

・パソコン及びOSソフトによっては、内容を正しく表示できない場合があります。接続表示方法については、お手持ちのパソコンの取扱説明書をご確認ください。





パソコン

注意

・対応入力解像度については61ページの「対応信号タイミング(PCモード)」をご参照ください。

・PC入力の場合は、無信号状態が約15秒間続くと、バックライトが消灯し、電源ランプ（橙）が点滅します。PC入力信号があれば、直ちに立ち上がります。

【使いかた】

1 テレビとパソコンの電源を入れる。

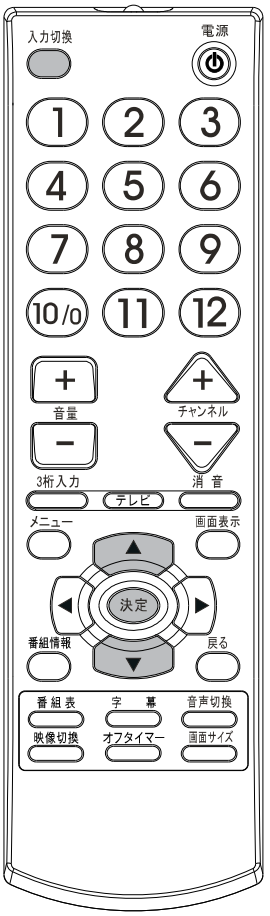
2 リモコンの 入力切換 を押して、入力機器選択のリストを表示させる。

で「ＰＣ」を選び、決定 を押す。

・本体上面の入力切換ボタンでも押すたびに下記のように入力機器が切り換わります。
テレビ⇒ビデオ　⇒ＰＣ⇒ＨＤＭＩ

3 パソコンを操作する。

4 画面の調整は、46ページをご参照ください。



チャンネルを設定する

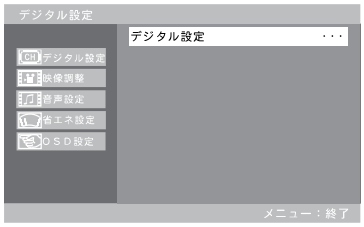
● 地上デジタル放送の受信環境についてのご注意
・地上デジタル放送を受信するには地上デジタル放送の送信局に向けてアンテナを設置する必要があります。専用のＵＨＦアンテナやデジタル放送対応のブースター、混合器等が必要になる場合もあります。放送エリア内であっても地形や建物などによって電波が遮られ受信できない場合があります。チャンネルにより受信感度が異なり、上記の諸条件によりチャンネルが受信できない場合があります。
・マンション等の共同受信設備がデジタル放送に対応していない場合があります。その際はマンションの管理者や共同受信組合など施設を管理運営している団体、会社などにご相談ください。
・本機はケーブルテレビのパススルー方式に対応しております。チャンネル設定時に「探す(全チャンネル)」を選んでください。詳しくはご利用のケーブルテレビ局にお問い合わせください。
・室内アンテナを使用する場合、設置場所の周囲の電波状況、障害物、設置環境によっては、電波状況が悪くなり、 映像、音声が停止したり、ノイズが出て使用できなくなることがあります。室外に設置されたアンテナなど受信状況の良いアンテナに接続されることをおすすめします。
● 地上デジタル放送チャンネルを受信するため、地域設定をお住まいの地域に設定します。
チャンネル設定の前に、必ず地域設定を行ってください。
● 地域設定を行った後にチャンネル自動設定を行うことで、受信できるチャンネル（放送波）を数字ボタンへ自動で登録（割りつけ）することができます。
● 受信したチャンネル（放送波）は、手動でもリモコンの数字ボタンへ登録（割りつけ）することができます。
● Ｂ－ＣＡＳカードを正しく挿入してください（11ページをご参照ください）。

［受信設定］

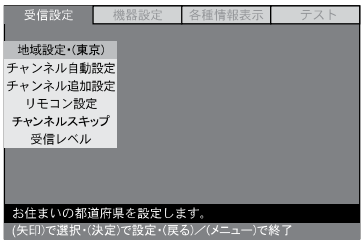
地域設定

・地上デジタル放送チャンネルを受信するため、地域設定をお住まいの地域に設定します。チャンネル設定の前に、必ず地域設定を行ってください。
・リモコンボタンの割りつけは、地域設定にて設定した地域内の放送が優先して割りつけられます。地域外の放送を受信する場合には、チャンネル＋/－もしくは、EPG（番組表）から選局が可能です。
・テレビ を押し、地上デジタル放送を画面に表示してください。
・最初に電源を入れると「（メニュー）ボタンを押してチャンネル設定を行ってください」と表示されている画面が地上デジタル放送の画面です。

1 メニュー を押し、▲▼ で「デジタル設定」を選び、決定 または ▶ を押す。



2 ◀▶ で「受信設定」を選び、▲▼ で「地域設定・(東京)」※1 を選び、決定 を押す。

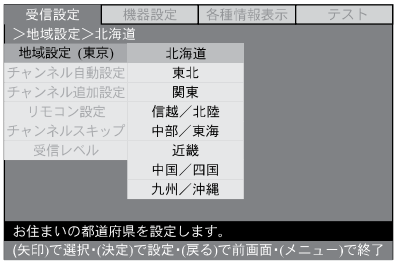


※1 初期値は「地域設定（東京）」となっています。 すでに設定がされている場合は最後に設定された都道府県名が（ ）内に表示されています。

チャンネルを設定するつづき

3

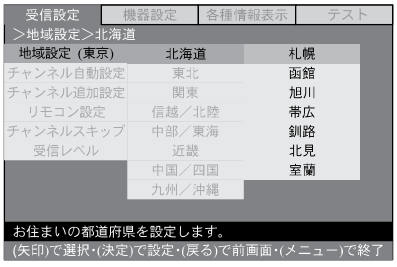
でお住まいの地域を選び、決定 を押す。

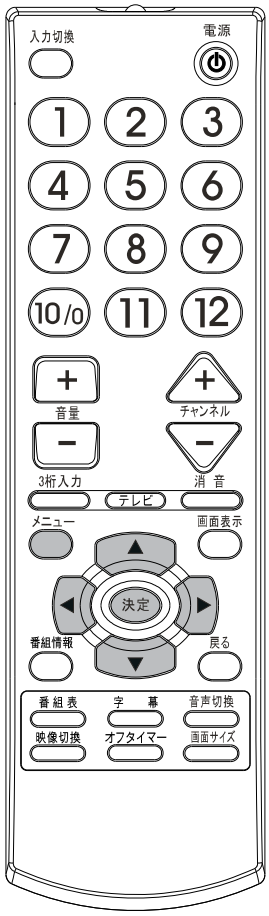


「地上デジタル放送のチャンネル一覧表」（57～58ページ）をご覧になり、地域を選びます。
地上デジタル放送への移行にともない、受信地域が変更されている場合があります。お住まいの地域をよく確認して設定を行ってください。

4

でお住まいの都道府県を選び、決定 を押す。



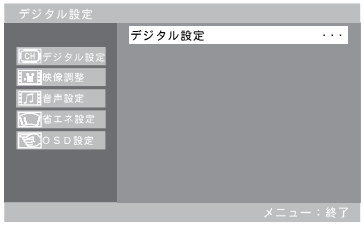


受信チャンネル自動設定

・現在受信可能なチャンネルを自動で検索します。
・検索後には、リモコンの数字ボタンへ自動でチャンネル（放送波）を割りつけます。
・前項目の地域設定と違う地域のチャンネルを検索して発見しても、
　リモコンにチャンネルを割りつけません。

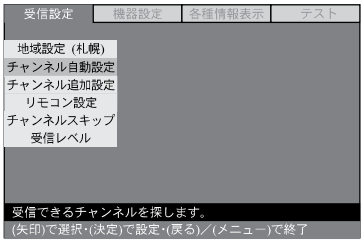
1

メニュー を押し、で「デジタル設定」を選び、決定 または を押す。



2

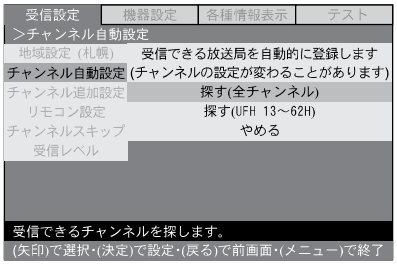
で「受信設定」を選び、で「チャンネル自動設定」を選び、決定 を押す。



チャンネルを設定するっづき

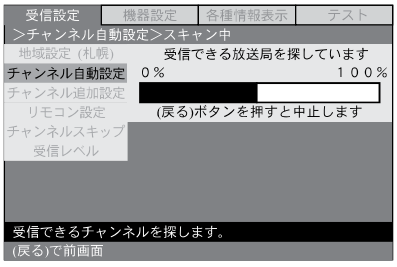
3

で「探す(全チャンネル)」を選び、決定 を押す。



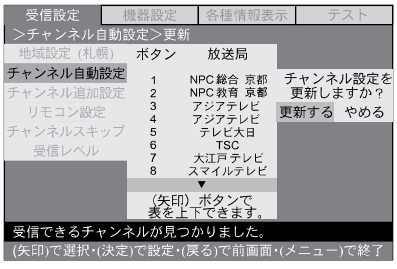
4

スキャン中

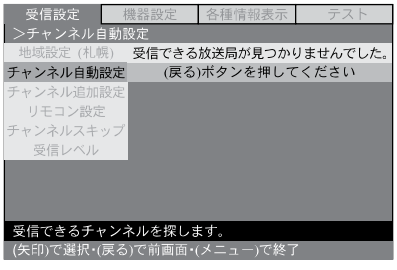


5

スキャンが終わりましたら、で「更新する」(または「やめる」)を選び、決定 を押して メニュー で終了する。



・スキャン中に放送波が見つからなかった場合は、「見つかりませんでした」と表示されます。



お知らせ

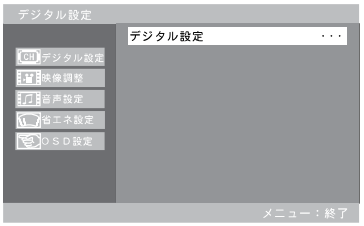
- 「全チャンネル」では、UHF13～62ch, CATV(C13～C63)すべてのチャンネルがスキャンされます。
- 「UHF13～62CH」では、UHF13～62chのみがスキャンされます。
- スキャン中に放送波が見つかると、地域設定にてあわせた地域のチャンネル（放送波）をチャンネルボタンへ設定します。

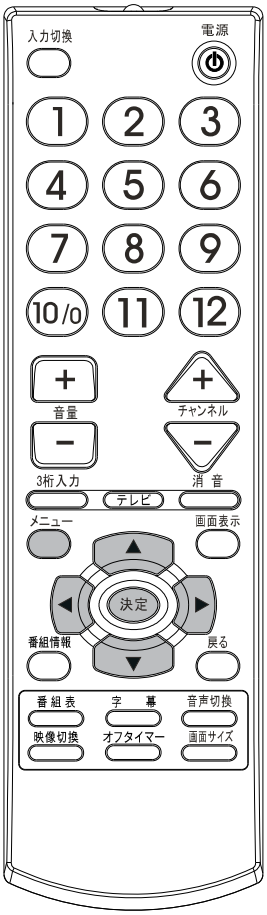
チャンネルを設定するつづき

チャンネル追加設定

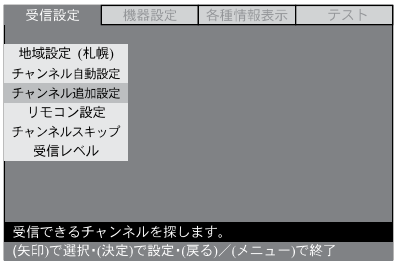
すでに地上デジタル放送を視聴していて、チャンネルや放送局が追加された場合に実行するメニューです。

1 メニュー を押し、 で「デジタル設定」を選び、決定 または を押す。

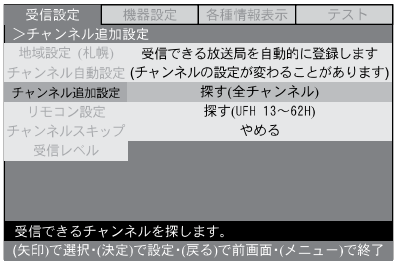




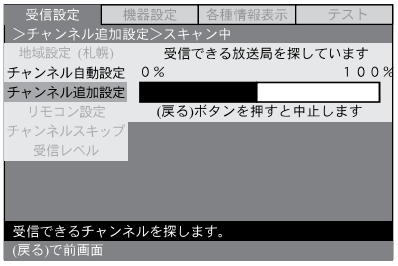
2 で「受信設定」を選び、 で「チャンネル追加設定」を選び、決定 を押す。



3 で「探す(全チャンネル)」を選び、決定 を押す。

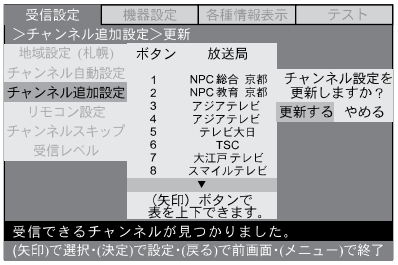


4 スキャン中

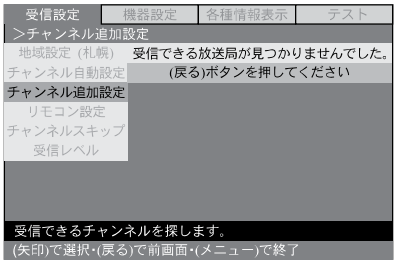


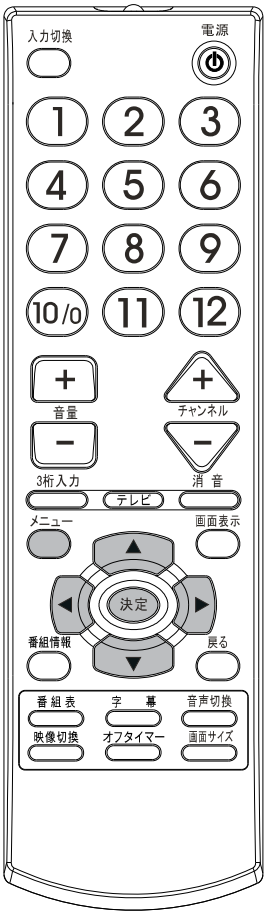
チャンネルを設定するつづき

5 スキャンが終わりましたら、◀ ▶ で「更新する」（または「やめる」）を選び、決定 を押して メニュー で終了する。



・スキャン中に放送波が見つからなかった場合は、「見つかりませんでした」と表示されます。





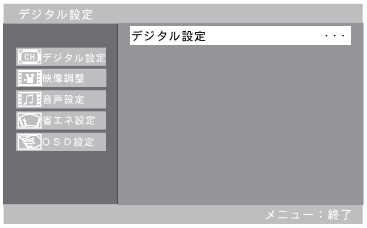
お知らせ

- 「全チャンネル」では、UHF13～62ch, CATV（C13～C63）すべてのチャンネルがスキャンされます。
- 「UHF13～62CH」では、UHF13～62chのみがスキャンされます。
- スキャン中に放送波が見つかると、地域設定にてあわせた地域のチャンネル（放送波）をチャンネルボタンへ設定します。

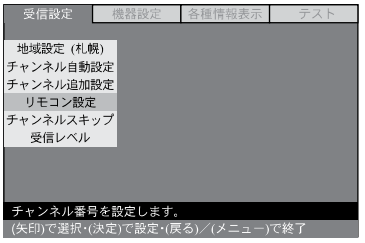
リモコン設定

・リモコンの数字ボタン（チャンネルボタン）へ、お好みの放送局（チャンネル）を割り当てることができます。

1 メニュー を押し、▲ ▼ で「デジタル設定」を選び、決定 または ▶ を押す。



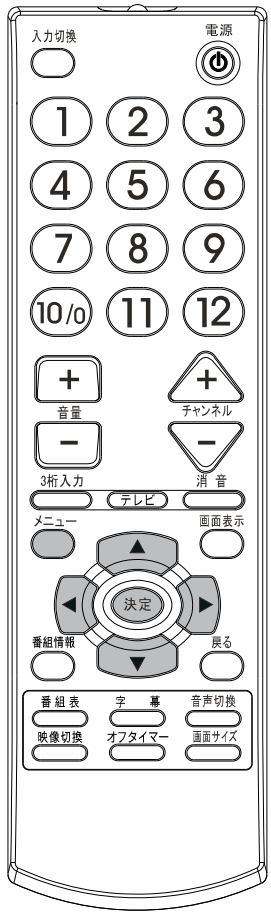
2 ◀ ▶ で「受信設定」を選び、▲ ▼ で「リモコン設定」を選び、決定 を押す。



チャンネルを設定する つづき

3 で登録されているチャンネル（リモコン数字ボタン）を選び、決定 を押す。

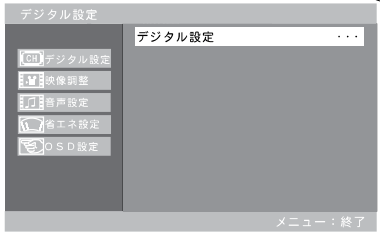
でお好みのチャンネル（放送局）を選び、決定 を押す。



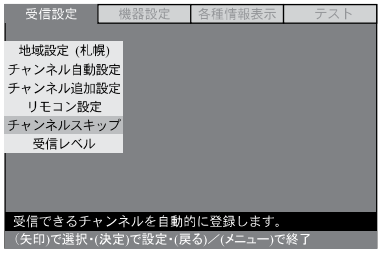
チャンネルスキップ

・放送のないチャンネルを飛び越して（スキップ）選局できます。

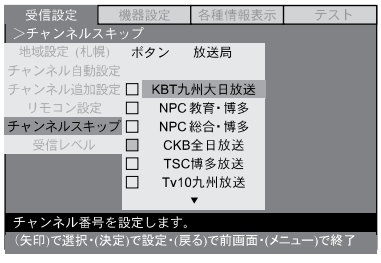
1 メニュー を押し、で「デジタル設定」を選び、決定 または を押す。



2 で「受信設定」を選び、で「チャンネルスキップ」を選び、決定 を押す。



3 でスキップを指定するチャンネルを選び、決定 を押す。



・選択した放送局は、数字ボタンを押しても視聴できなくなります。
・チャンネル（+/−）ボタンで順次選局しても、ここで選択した放送局は表示されずにスキップして次の放送局が選局されて視聴できます。

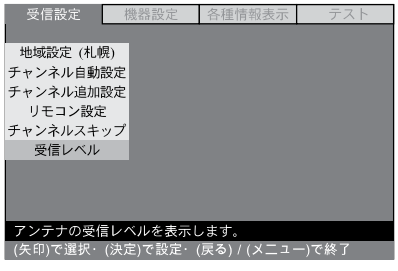
チャンネルを設定する つづき

受信レベル表示

・受信レベルは信号品質を表します。高画質番組を楽しむためには、十分な受信レベル(目安60%)を確保する必要があります。確認方法は次の通りです。

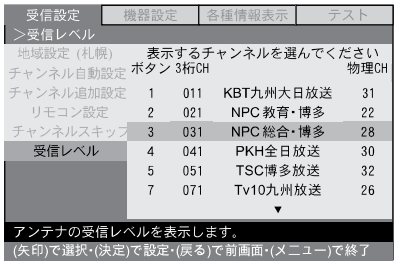
1 メニュー を押し、 で「デジタル設定」を選び、決定 または を押す。

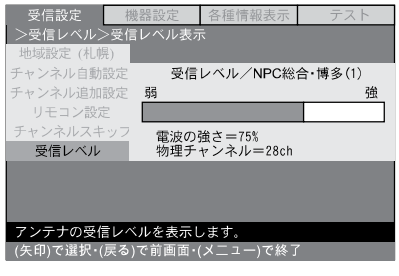
2 で「受信設定」を選び、 で「受信レベル」を選び、決定 を押す。



3 ●チャンネルリストから指定して受信レベルを表示させる場合

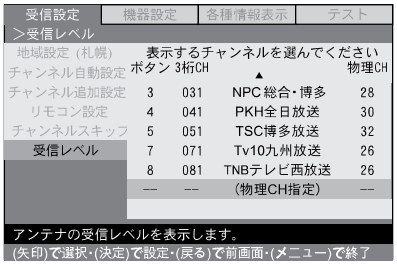
でチャンネルを選び、決定 を押すと、受信レベルが表示されます。





●物理チャンネルを指定して受信レベルを表示させる場合

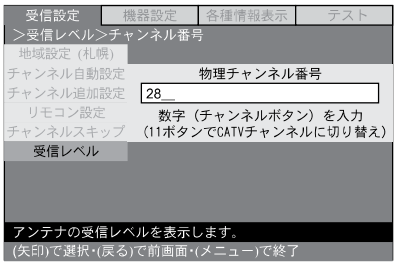
で「物理CH指定」を選び、決定 を押す。

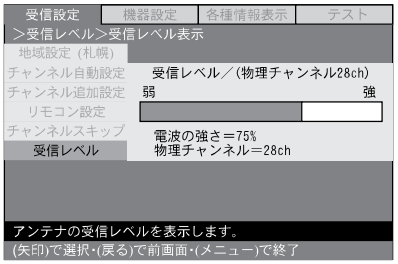


チャンネルを設定するっづき

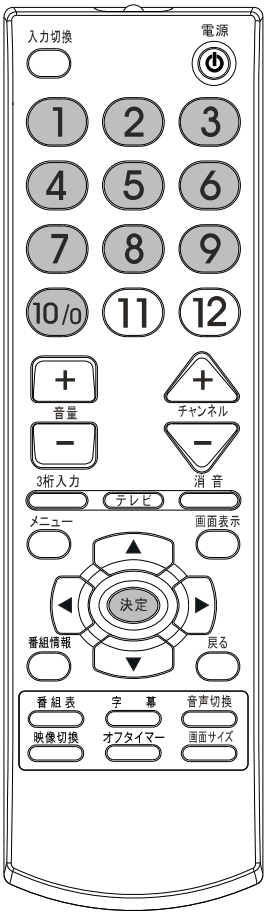
3 1 ～ 10/0 でチャンネル番号を入力して 決定 を押す。

（ 10/0 は「０」として機能します）





・11 でＣＡＴＶチャンネル番号入力へ、12 で地上デジタル放送チャンネル番号入力へ切り替えられます。



注意

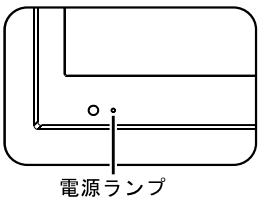
・受信レベルが高くても画像にノイズが発生する場合があります。原因として、アンテナからＴＶまでの経路に取り付けられているブースターの性能が適していない可能性が考えられます。その場合はお買い上げの販売店または工事業者にご相談ください。 その他の原因の可能性がある場合は５３～５４ページ「故障かな！？と思ったら」をご覧ください。「電波の強さ」の値により、プログレスバー（受信レベルを示すバーグラフ）の色が変わります。
赤：0～39%　橙：40～59%　緑：60～100%

ダウンロードを行う

・本機は、ソフトウェアのアップデートや機能改善などを行うために、地上デジタル放送電波からアップデータをダウンロードし、ソフトウェアを書き替えることができます。
・ダウンロードを実行するために、本機の電源プラグをＡＣコンセントに接続してください。
・ダウンロードをするための受信レベルの目安は60%以上必要です（受信レベル確認方法は24ページをご
。
・ダウンロードは本機の電源オフ（待機）状態のみで実行されます。
・ダウンロードが実施される前にメッセージが表示されます（55ページをご参照ください）。

ご注意

ダウンロードには、
・本機前面の電源ランプ（赤）が点滅します。
・数分程度がかかります。
この間に、本機ボタンとリモコンの操作、
電源プラグの抜き差しをしないでください。



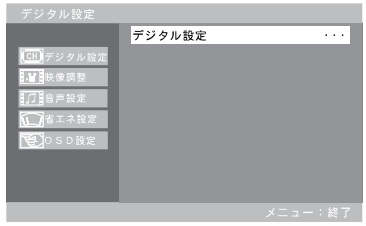
そのほかのデジタル設定をする

［機器設定］

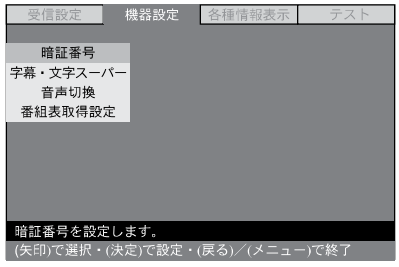
暗証番号設定

・暗証番号を設定することによって、お客様が登録されたデジタル設定の各種設定状態を保護することができます。
・お買い上げ時は暗証番号が「9999」に設定されています。

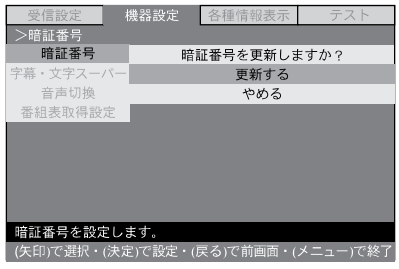
1 メニュー を押し、▲▼ で「デジタル設定」を選び、決定 または ▶ を押す。



2 ◀▶ で「機器設定」を選び、▲▼ で「暗証番号」を選び、決定 を押す。

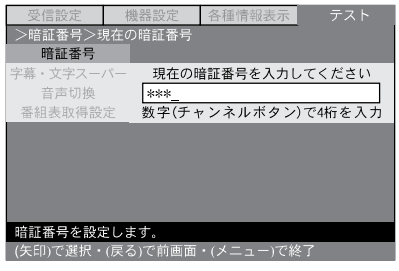


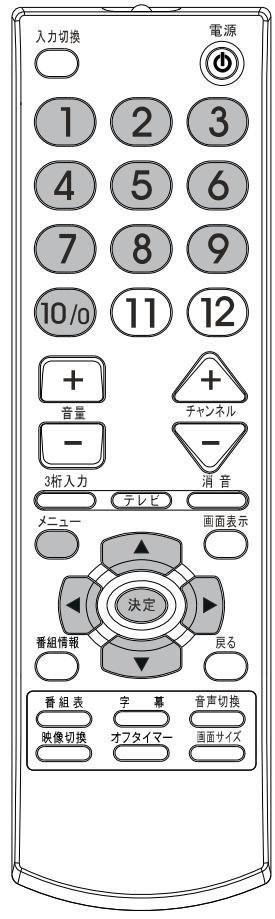
3 ▲▼ で「更新する」を選び、決定 を押す。



4 1 ～ 10/0 で現在の暗証番号4桁を入力する。

（10/0 は「0」として機能します）



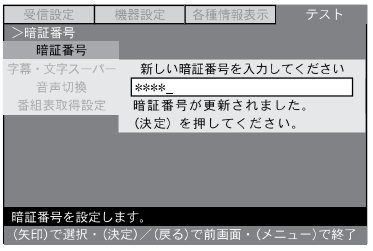


工場出荷状態に戻すには暗証番号の入力が必要です。お客様がご自身で設定された暗証番号をお忘れになった場合、暗証番号の解除ができなくなってしまいます。あらかじめご了承の上、暗証番号はご自身でメモに残すなどして十分に管理いただきますようお願いいたします。

そのほかのデジタル設定をする<small>つづき</small>

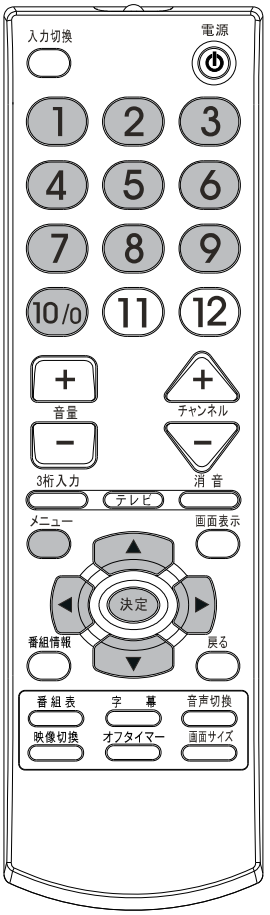
5 1 ～ 10/0 で新しい暗証番号4桁を入力し、決定 を押す。

（10/0 は「0」として機能します）



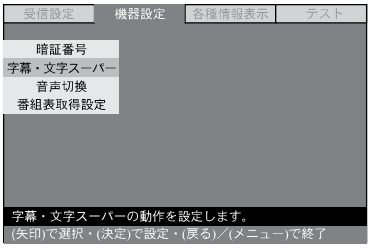
字幕・文字スーパーの設定

・地上デジタル放送に付加して送られてくる字幕・文字スーパーの表示方法を設定します。
・出荷時は字幕「なし」、文字スーパー「第１言語」に設定されています。
・字幕：放送されている映像・音声と同期した字幕サービス（訳字字幕など）
・文字スーパー：放送されている映像・音声と同期していない字幕サービス（ニュース速報、編成ことわり、時報など）
・放送されている映像に初放送前から入っている字幕や文字スーパーなどは切り換えできません。
・放送されている番組に字幕や文字スーパーが無い場合は、ここで表示するように設定しても実際のテレビ画面には表示されません。ここで字幕や文字スーパーを表示するように設定をすることで、字幕や文字スーパー放送を受信して視聴したときに表示されるようになります。



1 メニュー を押し、▲▼ で「デジタル設定」を選び、決定 または ▶ を押す。

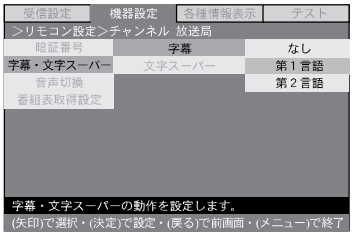
2 ◀ ▶ で「機器設定」を選び、▲▼ で「字幕・文字スーパー」を選び、決定 を押す。



3 ▲▼ で「字幕」を選び、決定 を押す。

▲▼ で「なし」、「第１言語」、「第２言語」から選び、

決定 を押す。

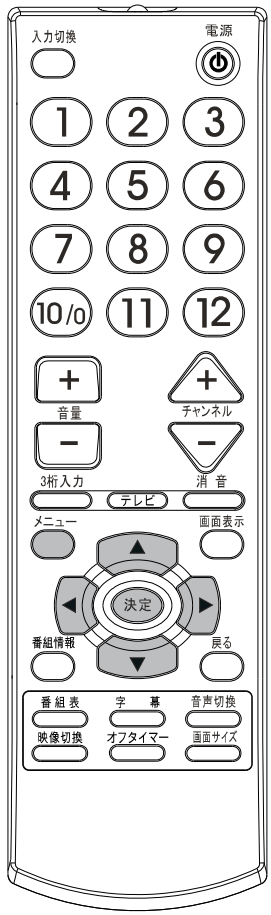


そのほかのデジタル設定をする_{つづき}

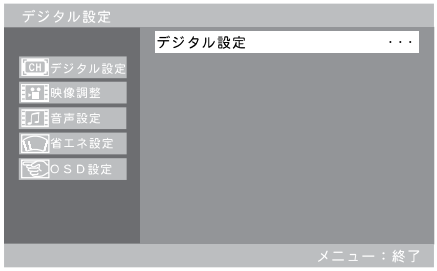
4 同じ方法で、文字スーパーの設定を「なし」、「第１言語」、「第２言語」へ切り換えることができます。

音声切換

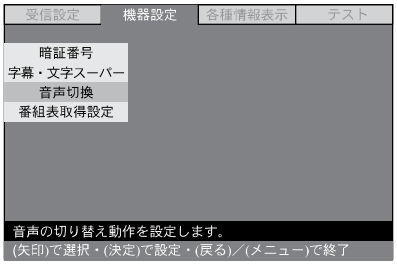
・複数の音声がある番組を視聴される場合に、音声を切り換えることができます。
・音声切換ボタンでも変更できます。音声切換ボタンの説明は４４ページを参照してください。



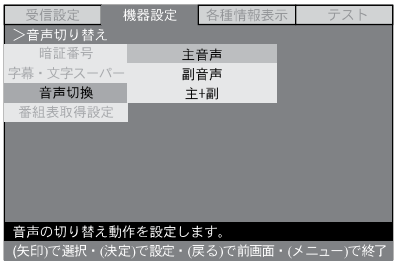
1 メニュー を押し、 で「デジタル設定」を選び、決定 または を押す。



2 で「機器設定」を選び、 で「音声切換」を選び、決定 を押す。



3 で・「主音声」「副音声」「主+副」のいずれかを選び、決定 を押す。



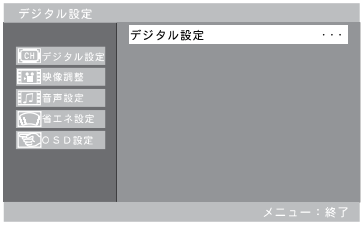
・ここで音声切換を設定しても、放送されている番組が複数音声を放送していない場合は適用されません。

そのほかのデジタル設定をするっづき

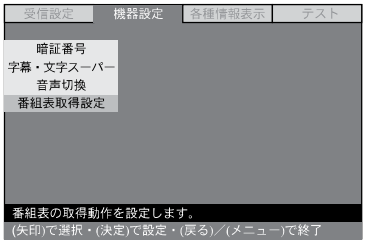
番組表取得設定

・番組表を自動で取得するかどうかの設定ができます。
・番組情報をタウンロードするには多少時間がかかります（電波状況によります）。

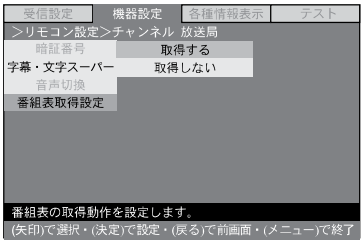
1 メニュー を押し、 で「デジタル設定」を選び、決定 または を押す。



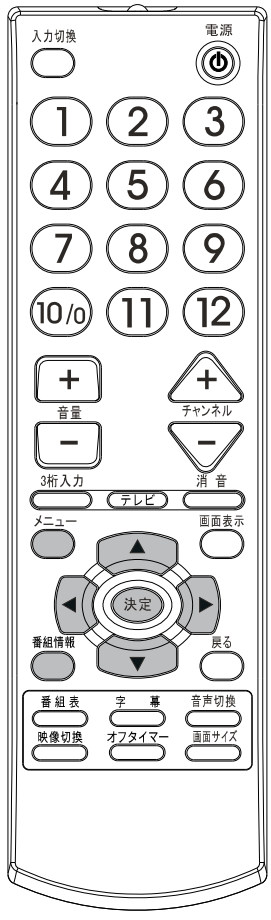
2 で「機器設定」を選び、 で「番組取得設定」を選び、決定 を押す。



3 で「取得する」を選び、決定 を押す。

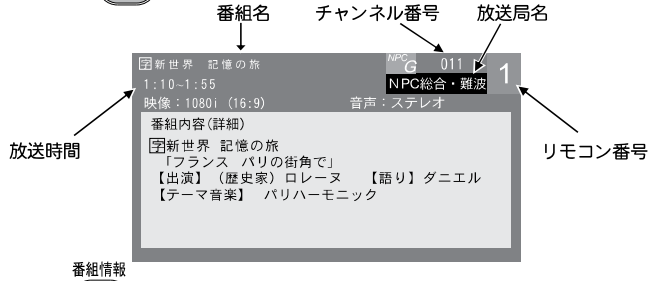


・ここで番組表を「取得する」に設定しても、実際にチャンネルを視聴することで、そのチャンネルの番組表を表示します。番組表の内容が表示されないチャンネルがある場合は、そのチャンネルを数分間（目安5分以上）視聴していただくことで3日分の番組表が表示されるようになります。



番組情報を見る

1 視聴中に、番組情報 を押すと、番組情報が表示されます。



・表示中に 番組情報 を押すと表示が消えます。

そのほかのデジタル設定をする つづき

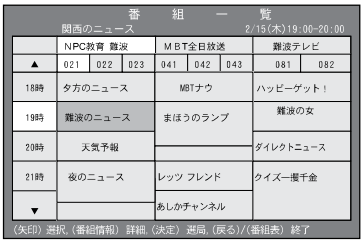
・電子番組表（EPG【Electronic Program Guide】番組情報：最大３日間分）を表示することができます。

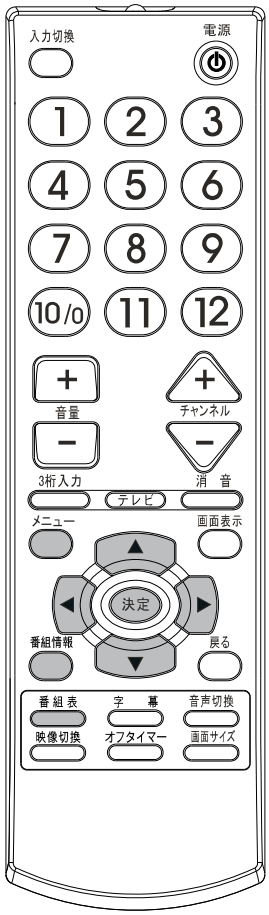
番組表を見る

デジタル放送を視聴中に 番組表 を押すと、番組表が表示されます。

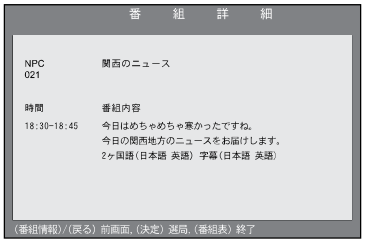
で項目を選び、番組情報 を押す。

・番組表に番組が表示されないチャンネルがある場合は、そのチャンネルを視聴していただくことで番組表が更新されます。
それでも番組表に表示されない場合は、デジタル設定⇒機器設定⇒番組表取得設定を「取得する」に設定して、もう一度番組表を確認してください。
・受信状態が悪いと番組表を取得出来ないことがあります。





2 番組詳細表示

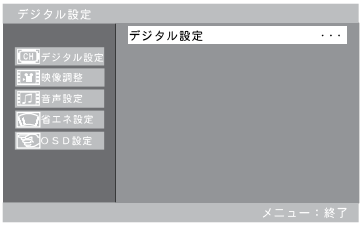


[各種情報表示]

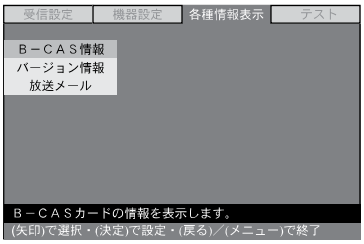
B-CASカード情報を見る

・B-CASカードの情報を表示します。
・本機からB-CASカードを取り外さなくても、リモコン操作によってカード番号が確認できます。

1 メニュー を押し、で「デジタル設定」を選び、決定 または を押す。

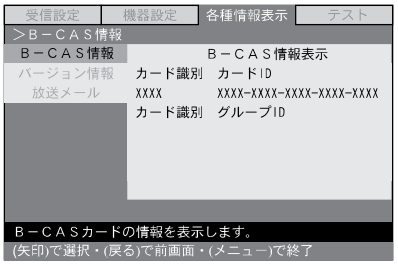


2 で「各種情報表示」を選び、で「B－CAS情報」を選び、決定 を押す。



そのほかのデジタル設定をする_{つづき}

3 カード情報を確認後、メニュー で終了する。

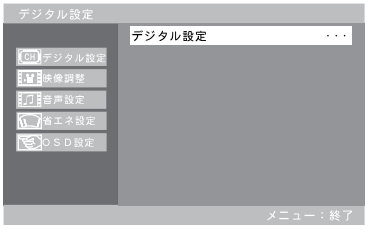


・「B-CASカードＩＤ」は、お問い合わせの際にも必要です。

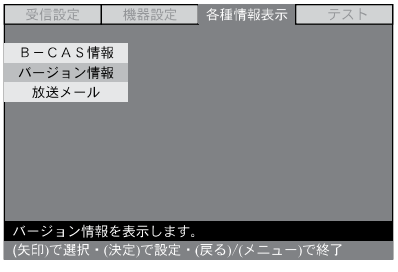
バージョン情報を見る

・現在の本機ソフトウェア情報を確認することができます。通常使用しているときは確認をする必要はありません。

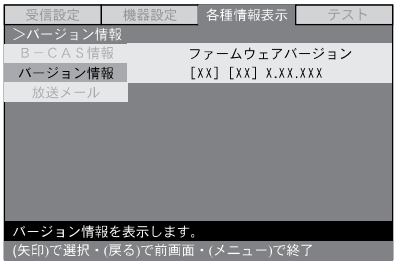
1 メニュー を押し、 で「デジタル設定」を選び、決定 または を押す。

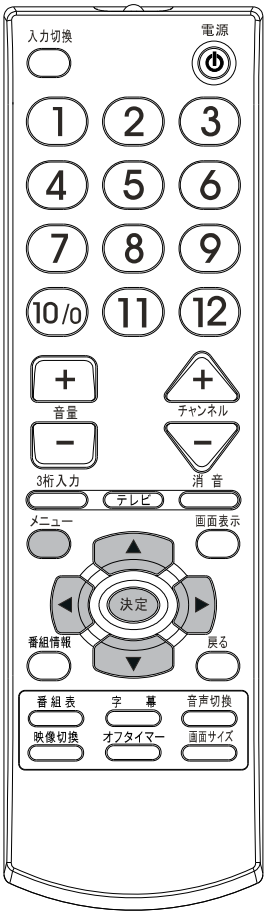


2 で「各種情報表示」を選び、 で「バージョン情報」を選び、決定 を押す。



3 バージョン情報を確認後、メニュー で終了する。



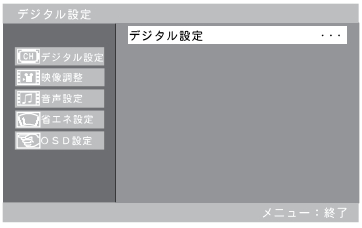


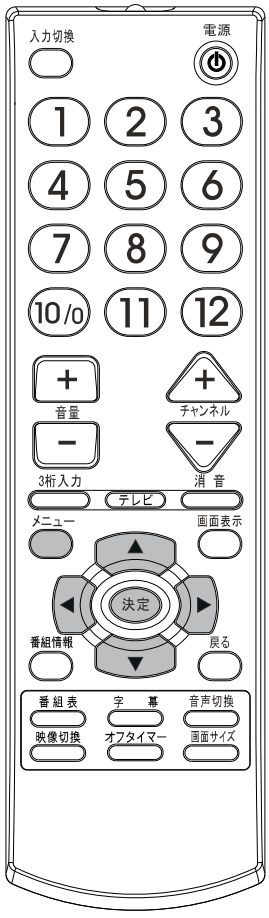
そのほかのデジタル設定をするっづき

放送メールを見る

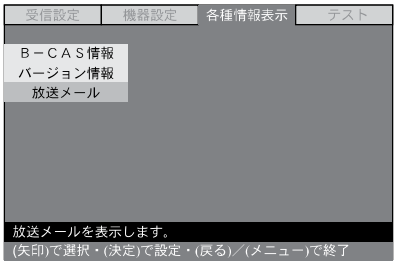
・メールには、放送局からのお知らせや、本機の機能向上のためのダウンロード情報などがあります。
・メールは最大10件まで保存できます。10件を超えるメールは、自動的に古いものから順に削除され、新しいメールが追加されます。

1 メニュー を押し、▲▼ で「デジタル設定」を選び、決定 または ▶ を押す。

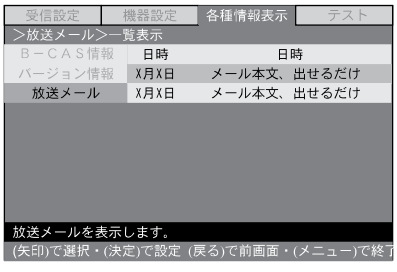




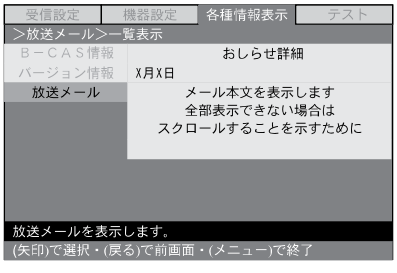
2 ◀▶ で「各種情報表示」を選び、▲▼ で「放送メール」を選び、決定 を押す。



3 ▲▼ で確認したいメールを選び、決定 を押す。



4 メールを確認した後、メニュー で終了する。



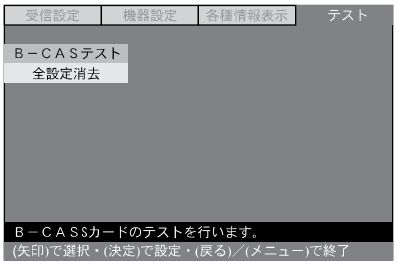
そのほかのデジタル設定をするっづき

Ｂ－ＣＡＳテストをする

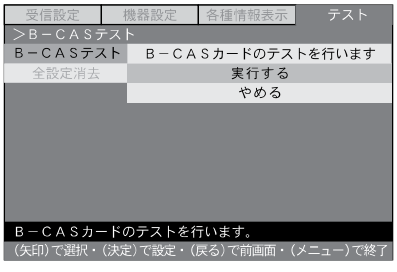
・Ｂ－ＣＡＳカードが正常に使用出来るかどうかのテストができます。通常使用しているときにはテストする必要はありません。

1 メニュー を押し、 で「デジタル設定」を選び、決定 または を押す。

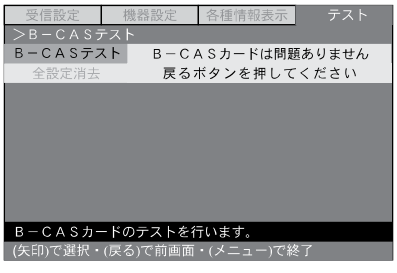
2 で「テスト」を選び、 で「Ｂ－ＣＡＳテスト」を選び、決定 を押す。



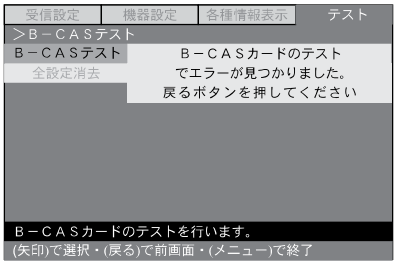
3 で「実行する」を選び、決定 を押す。



4 Ｂ－ＣＡＳカードに問題が無い場合は下図のように表示されます。



Ｂ－ＣＡＳカードに問題（エラー）がある場合が下図のように表示されます。５３ページの「故障かな！？と思ったら」をご覧ください。

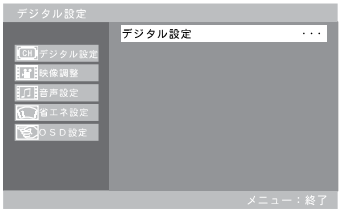


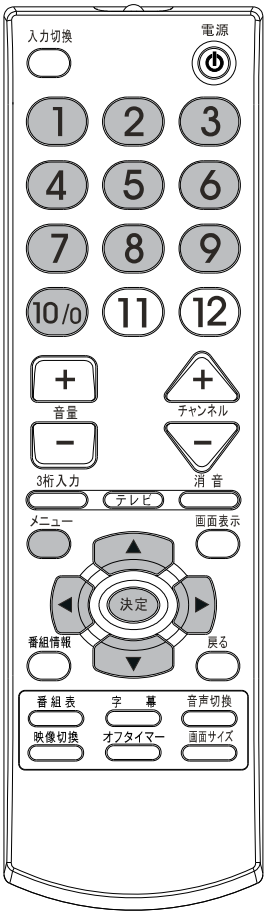
そのほかのデジタル設定をする つづき

全設定消去

・「全設定消去」とは、実行することでデジタル設定にて設定した項目や各値（チャンネル設定など）をお買い上げ時の設定（工場出荷状態）に戻すことができます。初期化、初期状態と記載することもあります。

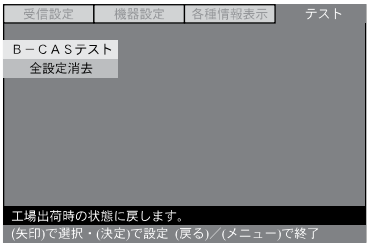
1 メニュー を押し、 で「デジタル設定」を選び、決定 または を押す。





2 で「テスト」を選び、 で「全設定消去」を選び、

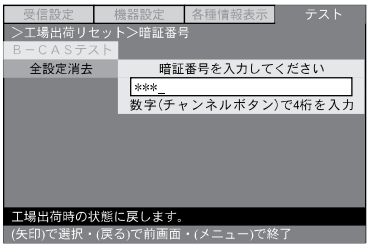
決定 を押す。



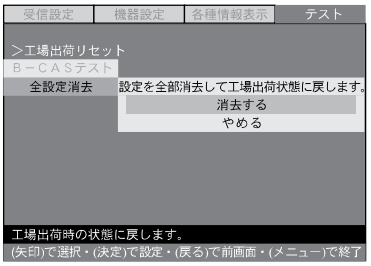
3 1 ～ 10/0 で暗証番号4桁を入力する。

（ 10/0 は「０」として機能します）

・暗証番号設定は、27ページをご参照ください。



4 で「消去する」を選び、決定 を押すとお買い上げ時の設定（工場出荷状態）に戻すことができます。



テレビ番組を見るとき

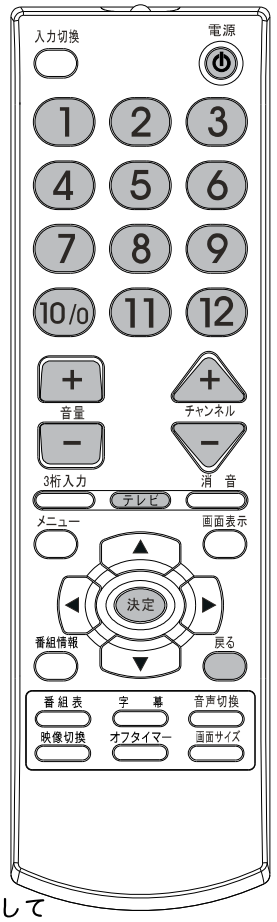
● アンテナ線の接続は、13ページをご参照ください。

1

本体の上部にある 電源 またはリモコン 電源 を押すと、電源のオン オフ（待機状態）を切り換えることができます。電源ボタンを押し、電源をオンにしてテレビを起動させてください。

・電源ボタンを押して画面が消えた場合は待機状態になります。本体の主電源は切れていません。。
・電源プラグをコンセントから抜くと、本体の通電を完全に切ります。
・長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源ボタンを押す…待機状態から電源オン状態になります。
電源ボタンを再度押す…電源オン状態から待機状態になります。



2

音量(＋／－)ボタンで音量を調整する

・音量は0～60の範囲で調整できます。

・ボタンを長押しすることで連続して調整することができます。
・音量を大きくするとノイズが聞こえる場合があります。気になる場合は音量を下げてください。
・より大きい音声でお楽しみいただく場合には、外部スピーカーの使用を推奨しています。

3

チャンネルを選ぶ

・テレビ を押すと地上デジタル放送の視聴画面へ切り換わり、最後に選局していたチャンネルになります。
・地上デジタルチャンネルの設定は18ページをご参照ください。
・数字ボタンおよびチャンネル（＋/－）ボタンでチャンネルを選べます。
・放送局によっては編成チャンネル（１つの放送局から複数の番組）を放送している場合があります。チャンネル（＋/－）ボタンでチャンネルを選択すると編成チャンネルを視聴できる場合があります。
・編成チャンネルをチャンネル（＋/－）ボタンで視聴できない場合は「３桁入力」ボタンから視聴してください。
・編成チャンネル放送時にチャンネル（＋/－）ボタンを押すと、２～３回同じ番組が映る場合がある、チャンネルボタンへ割り付けられていない放送局が選択できる、放送されていても選択できない放送局がある、連続して切り換えると違う順番で放送局を選択するなどの状況がありますが故障ではありません。気になる場合は数字ボタンから直接　チャンネルを選択してください。

※緊急警報放送（ＥＷＳ）のメッセージが表示された場合は「決定」ボタンを押して緊急警報放送が視聴できます。緊急警報放送を視聴した後、または表示しているメッセージ（文字スーパー）を消したい場合は「戻る」ボタンを押してください。詳しい説明は５９ページをご覧ください。

３桁入力での選局方法

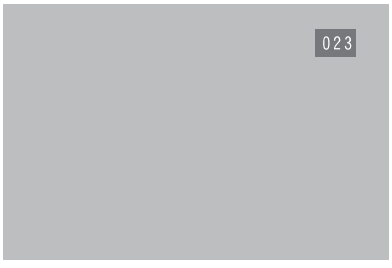
・３桁の番号を入力することで、それに対応した地上デジタル放送やＣＡＴＶのチャンネルを直接選択 視聴できます。

1 地上デジタル放送を視聴中に 3桁入力 を押す。

（チャンネル番号入力画面になります）

2 1 ～ 10/0 でチャンネル番号を入力する。

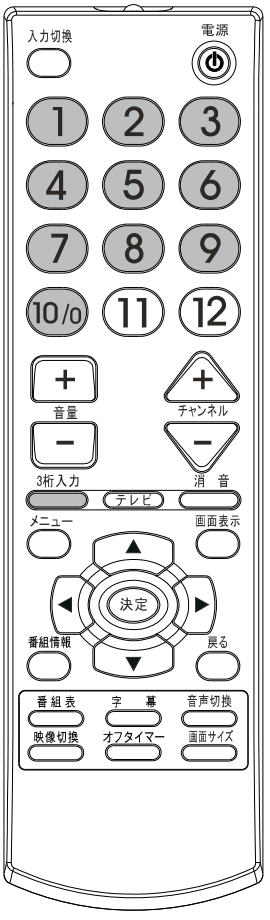
・10/0 は「０」として機能します。



例：
チャンネル「０２３」を選ぶとき

10/0 2 3

３秒以内 ３秒以内



お知らせ

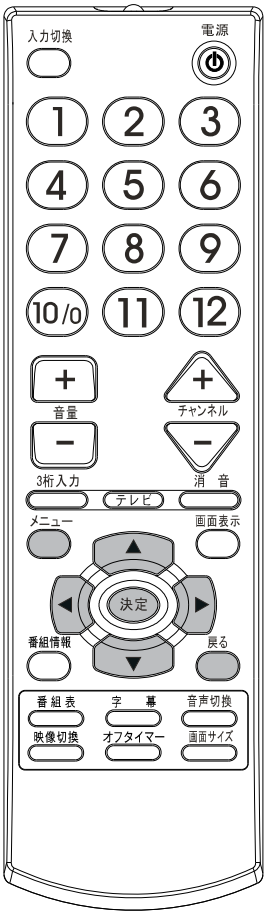
・ケーブルテレビを視聴する場合、数字ボタンへ割り当てることができないチャンネルをこの３桁チャンネル入力を用いることで直接選局することができます。
・編成チャンネルを放送している場合、この3桁チャンネル入力を用いることで直接選局することができます。
・お住まいの地域によっては、地域外の放送局の電波を受信して視聴できる場合があります。設定した地域外のチャンネルは、チャンネルボタンへ割り当てられない場合がありますので、デジタル設定からチャンネルを手動で数字ボタンへ割り当てるか、この3桁チャンネル入力を用いて直接選局してください。
・枝番を含めた４桁のチャンネル番号には対応していません。

お好み映像・音声設定

お好みの映像モードを選ぶ

1 メニュー を押し、 で「映像調整」を選び、決定 または を押す。

2 で「映像モード」を選び、決定 または を押す。



3 で映像モードのいずれかを選び、決定 を押す。

4 操作を終了する場合は、メニュー を押し、通常画面に戻す。

１つ前に戻る場合は、戻る を押す。

調整項目	鮮やか	標準	柔らか	お好み
	明るく、迫力のある映像で楽しむとき	お部屋で落ちついた雰囲気で楽しむとき	お部屋を少し暗くして柔らかみのある雰囲気で楽しむとき（暖かみのある色あいを再現します。）	お好みに調整した映像で見るとき（調整方法は次のページをご参照ください。）

注意

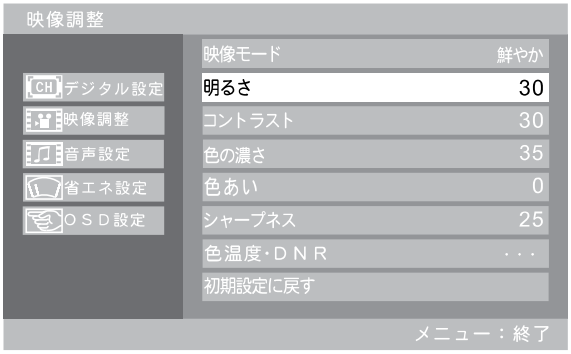
・手動で設定値を変更できるのはお好みモードのみとなります。
・お好みモード以外で各設定値を変更した場合、自動的に「お好み」モードの値として保存されます。既定のモード（標準、柔らか、鮮やか）の値は既定値のまま残ります。

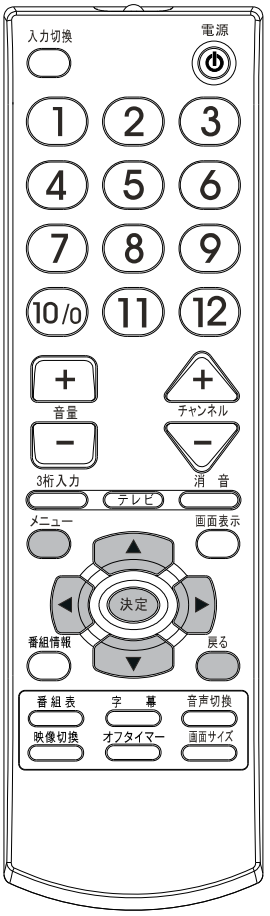
お好み映像・音声設定 つづき

映像調整について

1 メニュー を押し、 で「映像調整」を選び、決定 または を押す。

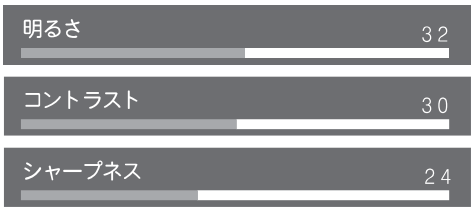
2 で調整したい項目を選び、決定 または を押す。





・ここで映像設定の調整項目を変更することができます。

3 お好みの映像を調整し、決定 を押す。



・調整項目の詳しい内容については、下表をご参照ください。

・ で調整できます。

他の項目を設定するときは、手順2、3繰り返し操作してください。

4 操作を終了する場合は、メニュー を押し、通常画面に戻す。

1つ前に戻る場合は、戻る を押す。

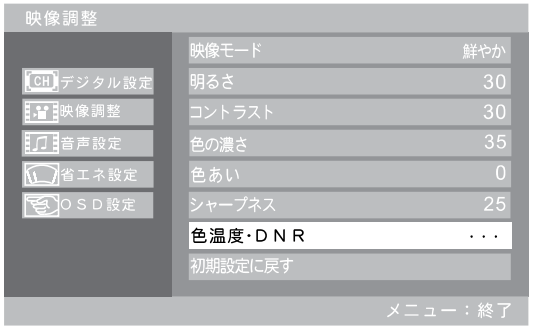
調整項目	調整範囲	内　容	カーソルボタン
明るさ	0～60	お好みの見やすい画面の明るさに調整できます。	暗くなる⇔明るくなる
コントラスト	0～60	画像のコントラストを調整できます。	弱くなる⇔強くなる
色の濃さ	0～60	色の濃さを調整できます。	薄くなる⇔濃くなる
色あい	-30～+30	色あい調整できます。	黄色っぽくなる⇔赤色っぽくなる
シャープネス	0～60	画像の輪郭を調整できます。	弱くなる⇔強くなる
初期設定に戻す	映像設定内で変更した各設定を、お買い上げ時の状態へ戻すことができます。		

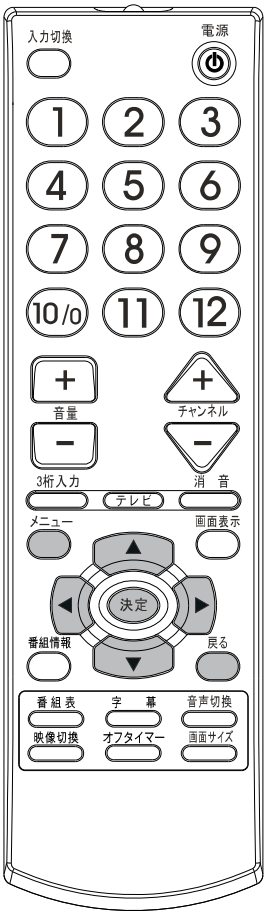
お好み映像・音声設定 つづき

お好みの色温度を選ぶ

1 メニュー を押し、 で「映像調整」を選び、決定 または ▶ を押す。

2 で調整したい項目を選び、決定 または ▶ を押す。





3 で「色温度」を選び、決定 または ▶ を押す。

4 で色温度のいずれかを選び、決定 を押す。

・暖１、暖２は全体的に燈色に見えます。寒１、寒２は青色に見えます。
お客様のお好みに合わせて設定してください。

5 操作を終了する場合は、メニュー を押し、通常画面に戻す。

１つ前に戻る場合は、戻る を押す。

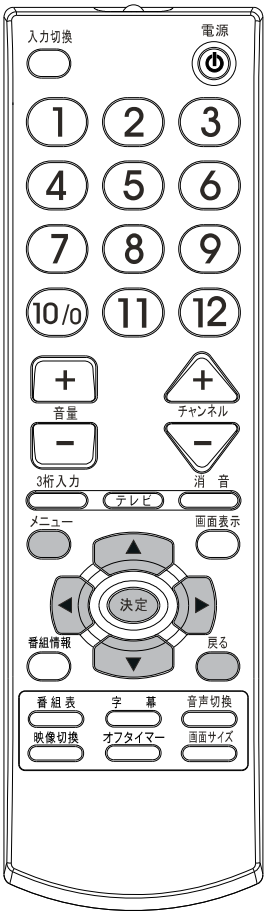
お好み映像・音声設定 つづき

お好みのＤＮＲを選ぶ

ＤＮＲとはデジタルノイズリダクションの略称です。ノイズ（軽度の映像障害）を感知した場合に、できるだけ通常視聴の状態を維持できるようにデジタル処理を行う機能のことです。

1 メニュー を押し、 で「映像調整」を選び、決定 または を押す。

2 で調整したい項目を選び、決定 または を押す。



3 で「ＤＮＲ」を選び、決定 または を押す。

4 でＤＮＲのいずれかを選び、決定 を押す。

・ＤＮＲを「高」設定寄りに設定すると、より小さなノイズを感知してノイズの少ない映像を視聴できるようになります。　ですが、視聴されている地域や環境によりノイズが多いと、本機の内部デジタル処理が多くなり「画像停止」などの症状が起きてしまい通常視聴が困難になる場合があります。お客様が視聴されている状況に合わせて設定してください。

5 操作を終了する場合は、メニュー を押し、通常画面に戻す。

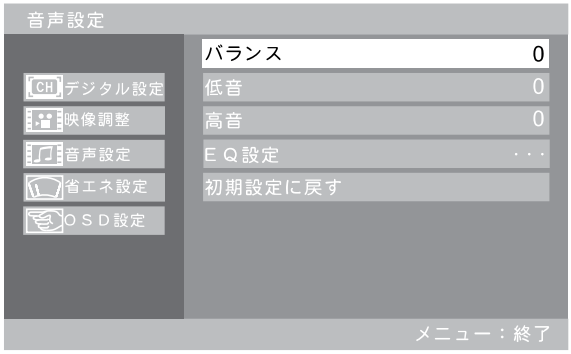
１つ前に戻る場合は、戻る を押す。

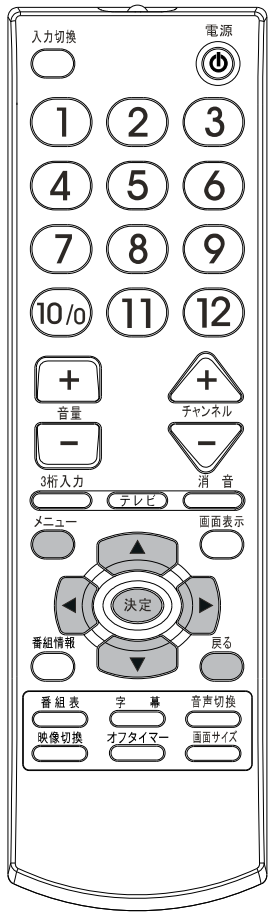
お好み映像・音声設定 つづき

音声調整について

1 メニュー を押し、 で「音声設定」を選び、決定 または を押す。

2 で調整したい項目を選び、決定 または を押す。





3 お好みの音声を調整し、決定 を押す。

・調整項目の詳しい内容については、下表をご参照ください。

・ で調整できます。

他の項目を設定するときは、手順2、3繰り返し操作してください。

4 操作を終了する場合は、メニュー を押し、通常画面に戻す。

１つ前に戻る場合は、戻る を押す。

調整項目	調整範囲	内　容
バランス	左10～右10	左右のスピーカーから出力される音声の割合を調整できます。ヘッドホンからの音声出力にも適用されます。
低音	-5～+5	スピーカーから出力される低音を調整できます。
高音	-5～+5	スピーカーから出力される高音を調整できます。
初期設定に戻す	音声設定内で変更した各設定を、お買い上げの状態へ戻すことができます。	

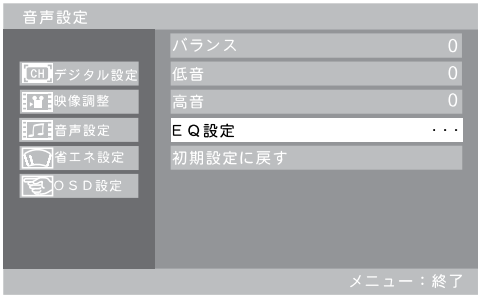
お好み映像・音声設定 つづき

ＥＱ設定とはイコライザー設定の略称です。音声として出力する音域を各値に分けて、
それぞれを設定することができます。

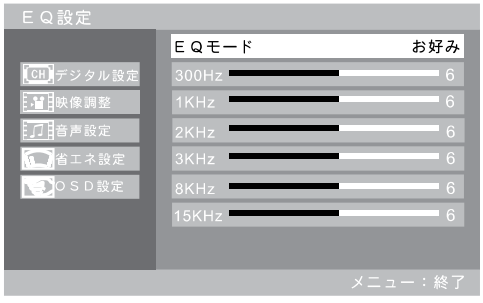
音声のＥＱ設定

1 メニュー を押し、 で「音声設定」を選び、決定 または ▶ を押す。

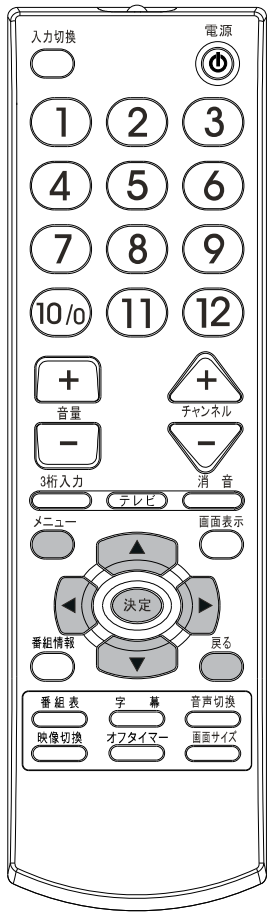
2 で調整したい項目を選び、決定 または ▶ を押す。



3 で調整したい項目を選び、決定 または ▶ を押す。



4 でＥＱモードのいずれかを選び、決定 を押す。



5 操作を終了する場合は、メニュー を押し、通常画面に戻す。

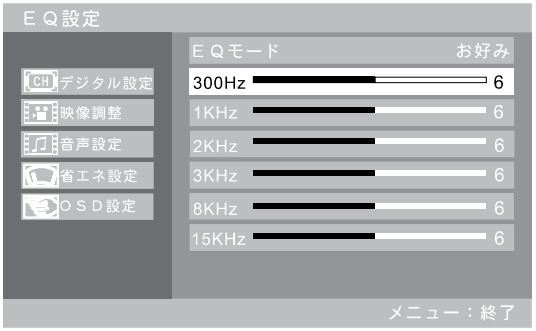
1つ前に戻る場合は、戻る を押す。

調整項目	標準	映画	ライブ	お好み
	音域が一律、基準となる設定です。	低音域を強めに設定してあり、迫力があるように感じる音声を出力するように設定します	中高音域を強めに設定してあり、賑やかに感じる音声を出力するように設定します。	各音域を調整すると、お好みＥＱモードの中へ値が記憶されます。

お好み映像・音声設定 つづき

音声のＥＱ設定

6 ◀ ▶ お好みの音声を調整し、決定 を押す。



・ここで映像設定の調整項目を変更することができます。

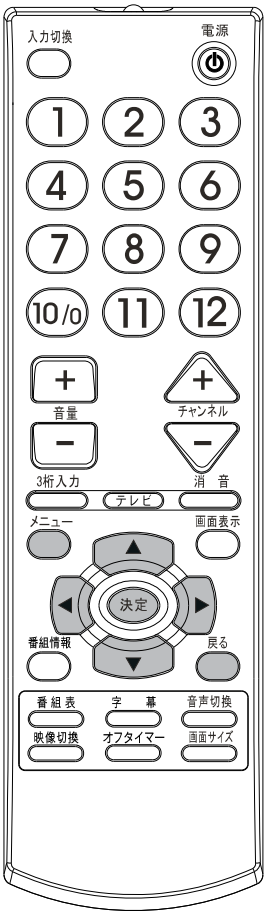
・◀ ▶ で調整できます。

他の項目を設定するときは、手順2、3繰り返し操作してください。

7 操作を終了する場合は、メニュー を押し、通常画面に戻す。

１つ前に戻る場合は、戻る を押す。

・各値を高く設定すると、良い音声が聞こえるようになるとともにノイズや不快と思われる音声なども聞こえやすくなります。お好みに合わせて調整してください。



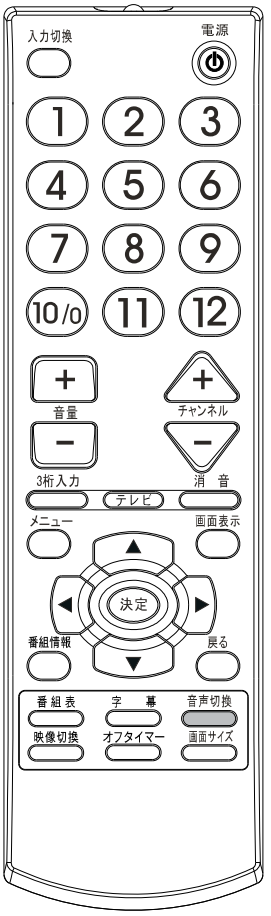
お好み映像・音声設定 つづき

音声多重放送を楽しむ

・複数の音声がある番組をご覧になるとき、音声を切り替えて楽しむことができます。

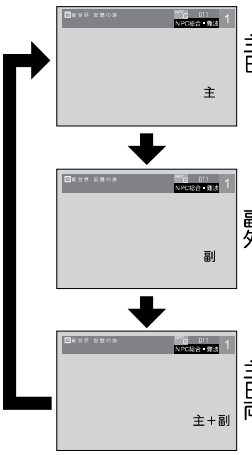
1 リモコンの 音声切換 を押す。

・メニューの「機器設定」の「音声切換」でも設定ができます。(29ページをご参照ください)。



音声多重放送の場合、音声切換 を押すたびに、音声表示が出ます。

例：主音声で日本語、副音声で外国語というように二ヶ国語で放送している場合。



主音声のみ：日本語のみ出力

副音声のみ：外国語のみ出力

主音声＋副音声：日本語と外国語の両方出力

・二重やマルチ音声の放送の場合、音声表示内容は、放送情報に含まれるコードによる表示であり、必ずしも下の音声表示内容表の通りではないことがあります。

音声表示内容表

放送音声	音声表示内容
音声多重	主
	副
	主＋副
ステレオ	ステレオ
モノラル	モノラル

画面サイズの設定

画面サイズの切り替え

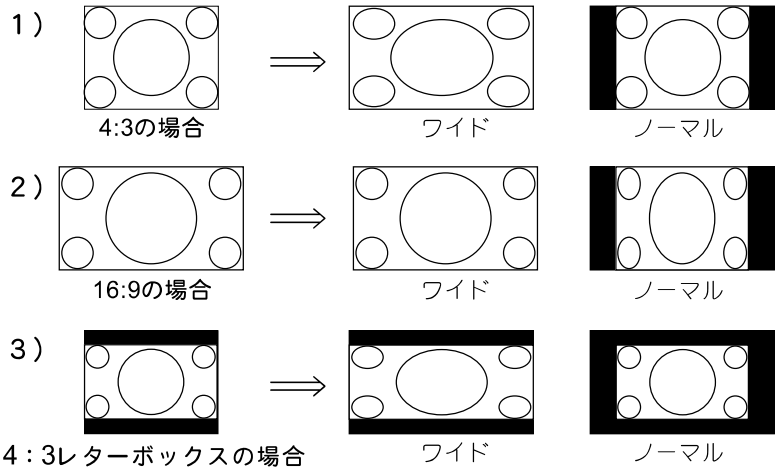
1 リモコンの 画面サイズ で、お好みの画面サイズを選ぶ。

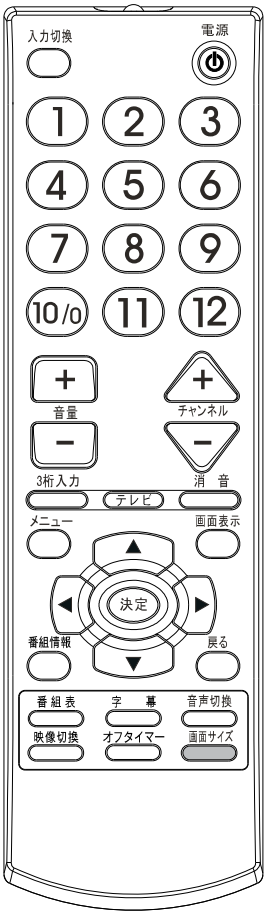
2 押すたびに、つぎの画面サイズから選択できます。

・地上デジタル放送を視聴しているときは切り換えることができません。

・外部から入力されている他の機器を視聴している場合の画面表示モードは、下記の１）～３）のように切り換わります。

他の機器からの映像





お知らせ

・本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き、画面サイズ切り換え機能(ズーム)等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

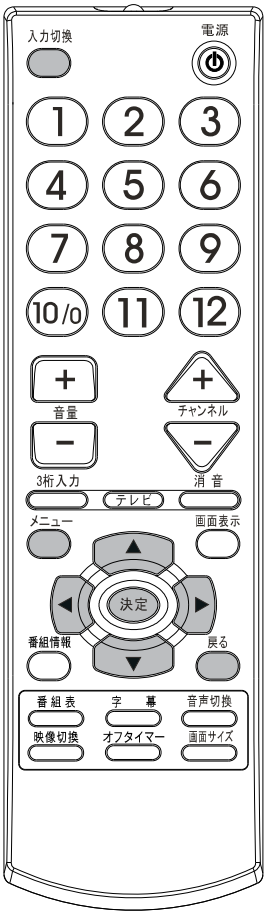
・本機は、画面サイズ切り換え機能を備えていますが、テレビ番組等の映像比率と異なる画面サイズを選びますと、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えることがあります。製作者の意図を尊重したオリジナルな映像は１６：９の場合はワイド、４：３の場合はノーマルでご覧になれます。

ＰＣ入力時の画面調整

・パソコンと接続後、入力切換 で、「ＰＣ」に切り換えます。
・パソコンを接続したとき、画面を表示してみて、画面の位置大きさが適切でなかったり、文字のにじみがある場合は以下の手順で調整することができます。

1 メニュー を押し、▲▼ で「ＰＣ設定」を選び、決定 または ▶ を押す。

2 ▲▼ で調整したい項目を選び、決定 または ▶ を押す。



3 ＰＣ入力画面の調整項目と調整のしかた

・◀▶で調整できます。
・位置自動調整とカラー自動調整: 決定 を押し、数秒後"OK"が表示されると、調整終了になります。
・手動選択：本機はパソコンからの信号フォーマットを自動で識別できない場合がございます。その場合は手動で選択してください

他の項目を設定するときは、手順2、3繰り返し操作してください。

4 操作終了する場合は、メニュー を押し、通常画面に戻す。

１つ前に戻る場合は、戻る を押してください。

お知らせ

・D-sub対応入力解像度については61ページの「対応信号タイミング（PCモード）」をご参照ください。
・位置自動調整
パソコンのモニターとして初めて使用するときは、「位置自動調整」を実行してください。
「水平位置」、「垂直位置」、「周波数」、「位相」が最適な状態に設定されます。

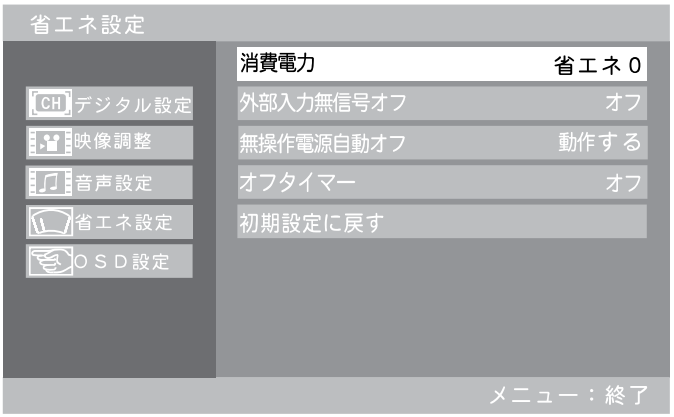
省エネ機能を使う

本機省エネ設定として「消費電力」「外部入力無信号オフ」「無操作電源自動オフ」「オフタイマー」「初期設定に戻す」の設定をすることができます。

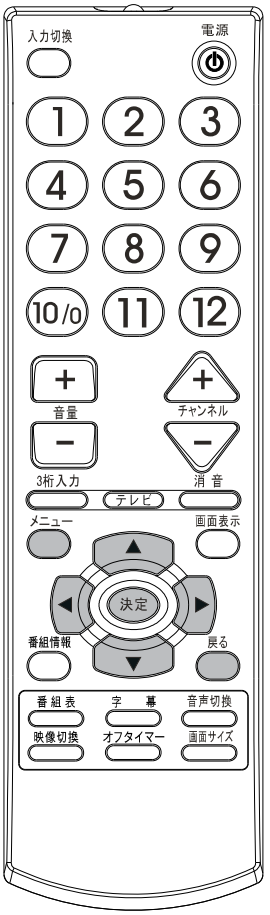
1 メニュー を押し、 で「省エネ設定」を選び、決定 または を押す。

2 で設定する項目を選び、決定 または を押す。

例：消費電力



・オフタイマーがすでに設定されている場合は、オフタイマーの残り時間が表示されます。設定されていないときは「オフ」と表示されます。



3 でお好みの設定状態を選び、決定 を押す。

例：消費電力

他の項目を設定するときは、手順2、3繰り返し操作してください。

4 操作を終了する場合は、メニュー を押し、通常画面に戻す。

１つ前に戻る場合は、戻る を押してください。

省エネ機能を使うっづき

■ 機能説明

● 消費電力

バックライトを調整することで、画面全体の明るさを変えて、消費電力を低減する機能です。

「省エネ０」：バックライトが一番明るいモード

「省エネ１」：明るさをおさえた省エネモード

「省エネ２」：明るさを「省エネ１」よりさらにおさえた省エネモード

ヘッドホンで音声を聞くときには、「省エネ０」モードをおすすめします。

「省エネ１、２」モードでは、若干ノイズが聞こえますが、これは故障ではありません。

● 外部入力無信号オフ

「オン」：外部入力選択時に無信号状態が約15分間続くと、本機は自動的に待機状態になります。

「オフ」：機能しません。

● 無操作電源自動オフ

「動作する」：　無操作状態が約3時間続くと、本機は自動的に待機状態になります。

「動作しない」：無操作状態が約3時間続いても、本機は電源オンのままで、自動的に待機状態になりません。

● オフタイマー

指定した時間経過後に本機は自動的に機能待機状態になります。詳細は52ページをご参照ください。

● 初期設定に戻す

省エネ設定内で変更した各設定を、お買い上げ時の状態へ戻すことができます。

ＯＳＤ設定

ＯＳＤとは【On-Screen Display】の略称です。本機を操作することでテレビ画面上へ表示する各種情報やメニュー画面をＯＳＤと表記しています。

表示時間の切り替え

表示時間を設定すると、ＯＳＤ表示後に設定した表示時間を経過するまで操作が無い場合にＯＳＤ表示を終了して通常画面に戻ります。

1 メニュー を押し、 で「ＯＳＤ設定」を選び、決定 または を押す。

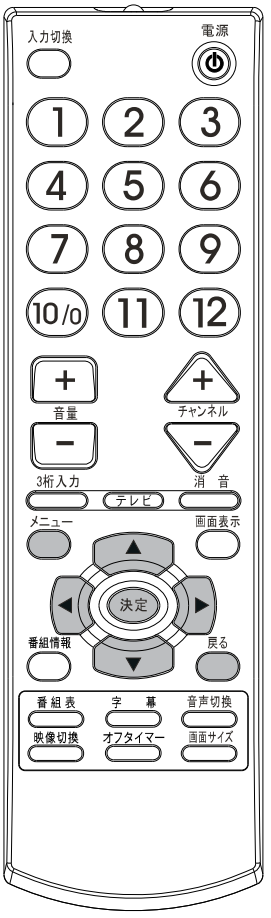
2 で調整したい項目を選び、決定 または を押す。

3 で表示時間のいずれかを選び、決定 を押す。

※リモコンや本体ボタンを操作することで画面に表示されるＯＳＤのなかには、この設定時間が適用されないものもあります。

4 操作を終了する場合は、メニュー を押し、通常画面に戻す。

１つ前に戻る場合は、戻る を押す。



ＯＳＤ設定 つづき

透明度調整

ＯＳＤの透明度を設定できます。

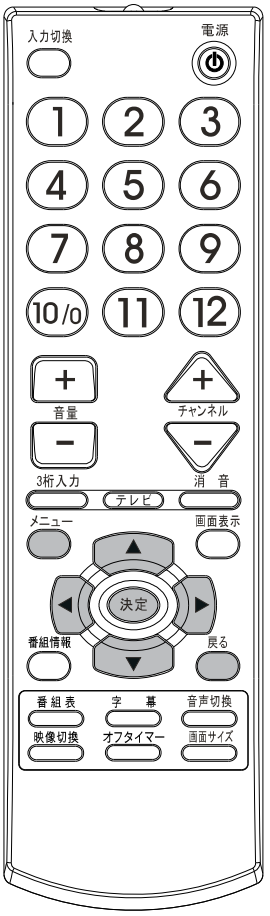
1 メニュー を押し、 で「ＯＳＤ設定」を選び、決定 または を押す。

2 で調整したい項目を選び、決定 または を押す。

3 お好みの透明度を調整し、決定 を押す。

で調整できます。

・透明度は４段階に切り換えることができます。透明度を「０」にするとＯＳＤがはっきり表示されますが、ＯＳＤの後ろになる画像が見えなくなります。透明度を「４」に近づけるとＯＳＤの表示が段階的に薄くなり、ＯＳＤの後ろにある画像が見えるようになります。お好みに合わせて切り換えてください。



4 操作を終了する場合は、メニュー を押し、通常画面に戻す。

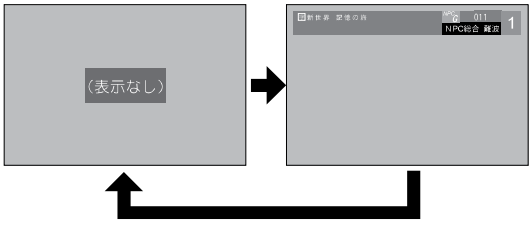
１つ前に戻る場合は、戻る を押す。

その他の便利機能

チャンネル番号などを知りたいとき

1 番組視聴中にリモコンの 画面表示 を押すと、画面にチャンネル情報が表示されます。

● 地上デジタル放送を視聴している場合に、地上デジタル放送のチャネル情報が画面に表示されます。

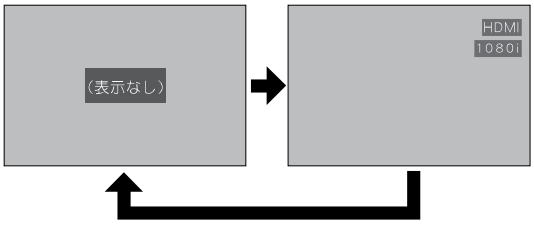


・再び 画面表示 を押すと、チャンネル情報が消えます。

・約５秒無操作で表示が消えます。

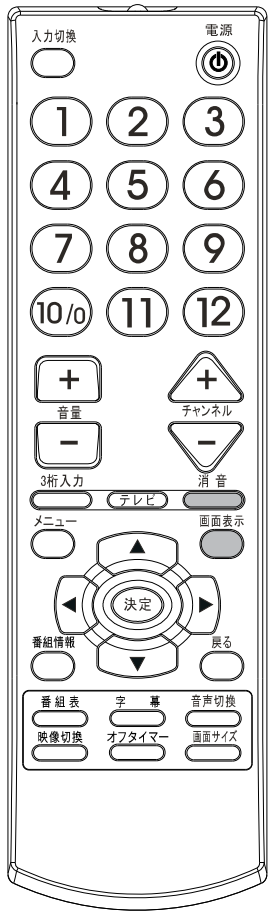
● 外部入力情報を確認する場合 画面表示 を押すと、その外部入力の内容を表示します。

例：「HDMI」入力



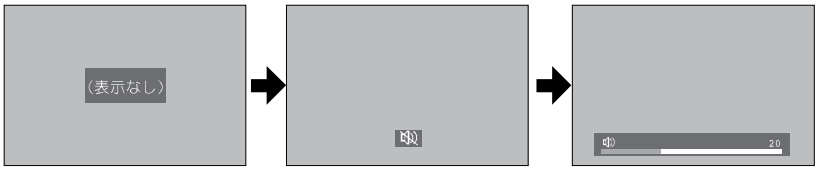
・再度 画面表示 を押すと、外部入力情報が消えます。

・再度ボタンを押さないと表示は消えません。



音を一時的に消したいとき

1 リモコンの 消 音 を押す。



・再度 消 音 を押すか 音量 を押すと、音声が出るようになります。

その他の便利機能つづき

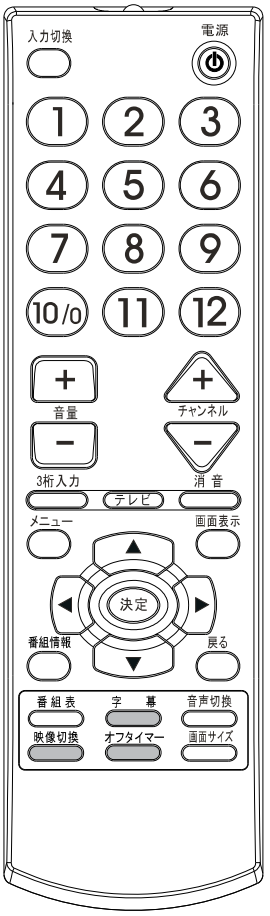
オフタイマー設定のしかた

・指定した時間経過後に電源を切ることができます。テレビを見ながらおやすみになるときなどに便利です。

1 リモコンの オフタイマー を押すたびに、設定時間がつぎのように切り換わります。

オフ⇒15分⇒30分⇒60分⇒90分⇒120分

・解除するときは、オフタイマーボタンを押し、「オフタイマー　オフ」にしてください。
・メニューの「省エネ設定」→「オフタイマー」からも設定ができます（47ページをご参照ください）。
・オフタイマー設定後にもう一度オフタイマーボタンを押すと、すでに設定されているオフタイマー設定情報として「待機状態になるまでの残り時間」が表示されます。　残り時間が表示されている状態でオフタイマーボタンを押すと、オフタイマーが再設定されます。



字幕切換のしかた

・デジタル設定メニューの「機器設定」「字幕 文字スーパー」でも「字幕」の設定を切り換えられます。（２７ページを参照してください）。

1 リモコンの 字幕 を押すたびに、以下のいずれかに設定できます。

字幕なし⇒第一言語　　字幕なし⇒第一言語⇒第二言語

・字幕放送を行っていない場合は「字幕なし」という表示がされ、選択/変更ができません。

映像切換のしかた

・デジタル放送には、マルチビューなど複数の映像を放送している番組があります。このような番組では、映像を切り換えて楽しめます。

1 リモコンの 映像切換 を押すたびに、以下のように切り換わります。

第１映像 ⇒ 第２映像 ⇒ ……

・番組によって切り替えられる映像は異なります。
・映像を切り換えられる放送を行っていない場合は、このボタンを押しても映像を切り換えることはできません。

故障かな！？と思ったら

修理を依頼される前にお調べください

- 次のような場合は故障ではないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
- それでも異常があるときは使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店にご連絡ください。
- 本機において、ゲーム機からの映像信号、バージョンなどによって映像が映らない場合があります。あらかじめご了承ください。

このようなときは		ここをお調べください	参照ページ
電源	電源が入らない。	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 ●電源コードと専用ACアダプターは接続されていますか。 ●DC電源出力端子はしっかりと差込まれていますか。	12
	急に電源が切れた。	●省エネ設定―外部入力無信号オフ、無操作電源自動オフが「オン」になっていませんか。 ●オフタイマーの設定がされていた可能性があります。 →再度電源を入れた際、オフタイマーの設定をしていないことを確認し、同じ症状が起こらないか確認してください。	47~48
リモコン	リモコンで操作できない。	●リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ●乾電池の極性（⊕⊖）が逆になっていませんか。 ●テレビのリモコン受光部へリモコン先端の信号発信部を向けて操作していますか。 ●テレビのリモコン受光部に強い照明などが当っていませんか。 ●リモコンからテレビのリモコン受光部までの間に遮蔽物などはありませんか？その場合は遮蔽物を取り除いてください。	10
	チャンネル＋－で特定のチャンネルだけ選べない。	●スキップされていませんか。 →選びたいチャンネルのスキップを解除してください。 ●編成チャンネルを視聴している場合があります。	23 35
テレビを見ているとき	音声に異音が入ったり映像にノイズが出る。	●本機の近くで携帯電話など無線機器を使用していませんか。 →携帯電話などを離して使用してください。 ●アンテナの向きがズレていませんか。 ●受信電波信号が弱い状態ではありませんか。 ●近くで家電製品を使用することで異音やノイズが出ることがあります。該当する家電製品の使用を中止/移動するか、本機の設置場所を変えてください。 ●省エネ設定がされていませんか。省エネが１または２に設定されていると音が途切れたりノイズが発生する場合があります。気になる場合は省エネを０に設定してください。	13 24 47
	色じま模様が出る。 色が消える。 縦線状のノイズが見える。	●アンテナやアンテナ端子への妨害電波の影響が考えられます。 →地上放送のアンテナ線の接続には、アンテナケーブル(別売)をご使用ください。 →アンテナの高さや向きを調整すれば、ノイズをある程度少なくすることができます。 ●外部機器映像を見ている場合は、接続や設置場所を確認してください。	13~14 25
	色あいが悪い。	●色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか。 ●チャンネルの設定は正しくされていますか。	13 18~25 37~38

故障かな！？と思ったらつづき

このようなときは		ここをお調べください	参照ページ
テレビを見ているとき	二重三重になる。	●ビルなどがある場合、それらの反射電波の影響も考えられます。 →アンテナの位置、高さや向きなどを変えてみてください。	13 24~25
	画面が暗い。	●省エネモードになっていませんか。 ●映像モードが変更されていませんか。 ●映像の調整を確認してください。	37~38 47~48
	デジタル放送が映らない。	●Ｂ－ＣＡＳカードは正しく挿入されていますか。前後左右を逆に挿入すると視聴できません。挿入方向を確認してください。 ●Ｂ－ＣＡＳカードのＩＣ部分が接触不良を起こした場合、何度か挿入しなおすことで視聴できる場合があります。 カードは折れ、欠け、曲がりなどがあると正常に使用できなくなりますので丁寧に扱ってください。 ●デジタル設定の中にあるＢ－ＣＡＳテストを実施して、Ｂ－ＣＡＳカードにエラーがある場合は、1ページにある「㈱ビーエスコンディショナルアクセスシステムズ」へお問い合わせください。	11
	地上デジタル放送が受信できない。	●お住まいの地域は、地上デジタル放送の放送エリアですか。 ●UHFアンテナは、地上デジタル放送の送信局に向けられていますか。 ●地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナをご使用ですか。 ●地上デジタル放送の送信局が、アナログ放送時の送信局から場所が変更されている場合があります。お住まいの地域の放送局 中継局を確認してください。	13 57~58
	映像も音声も出ない。	●アンテナ線が外れていませんか。 ●ビデオ入力などに切り換えられていませんか。 ●外部機器の接続ケーブルが外れていませんか。	13~17
	映像は出るが、音声が出ない。	●消音状態になっていませんか。または音量が０になっていませんか。 ●ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれたままになっていませんか。 ●HDMI端子で外部機器を接続している場合では、音声が出ない場合があります。	8~9 15
	ビデオを見ているときに、片側のスピーカーから音声が出ない。	●ビデオ入力端子の接続コードが外れていませんか。	14

故障かな！？と思ったらつづき

このようなときは		ここをお調べください	参照ページ
テレビを見ているとき	映像が悪い。	●アンテナケーブルのつなぎかたを確認してください。 ●アンテナ線が切れたり、外れたりしていませんか。 ●アンテナが風で壊れたり、曲がったりしていませんか。 ●アンテナの向きがズレていませんか。 ●ビデオを見たいのに、テレビ入力などに切り替えられていませんか。 ●映像設定を正しく調整されていますか。 ●チャンネルの設定は正しくされていますか。 ●受信電波信号が弱い状態ではありませんか。 ●編成チャンネルを視聴している場合があります。チャンネルボタンを数回押してください。正常な視聴状態へ戻る場合があります。 ●地域設定を正しく設定していますか？お住まいの地域によっては、該当地域から近隣の地域へ設定を変更することで視聴できる場合がありますのでお試しください。	13 18~25 37~38 47~48

地上デジタル放送のメッセージ一覧表

表　　示	状　　態	優先度※1
(メニュー)ボタンを押してチャンネル設定を行ってください	初期化状態のとき	高
無効なチャンネル番号です	無効な3桁番号が指定されたとき	
このボタンはチャンネル登録されていません	無効な番号ボタンが指定されたとき	
お住まいの地域の放送局が・・・ このメッセージは数日間・・・	チャンネル周波数の変更予定があるとき※2	
受信レベルが低下しました。アンテナ線を確認してください	アンテナレベル低下	
このチャンネルは放送されていません	非対応の放送を受信したとき	
B-CASカードを確認してください	B-CASエラー発生時	
すべてのチャンネルがスキップ設定されています	全チャンネルがスキップ指定時	
緊急放送が開始されました。「決定」でチャンネルが切り替わります	緊急放送 メッセージ受信時	
ソフトウェアのアップデートが実施されます	アップデート実施メッセージ受信時	
(メニュー)ボタンを押して「放送メール」を確認してください	アップデート完了時　放送メール受信時	
データ取得中です。しばらく待って操作してください	時間情報未取得のとき	低

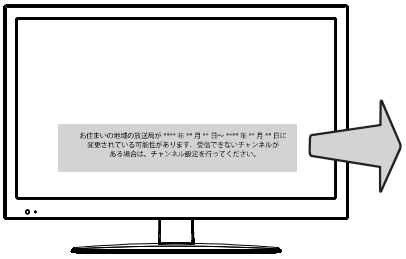
※1 該当する問題が複数存在する場合は、優先度が高い順に1つだけメッセージが表示されます。表示されている問題を順次解決してください。

※2 デジタル放送のチャンネル変更（チャンネル周波数の再配置）を「デジタルリパッキング」と読んでいます。２０１１年7月のアナログ放送終了後にアナログ放送を使用していた周波数帯を有効活用するために、一部の地域ではデジタル放送のチャンネル周波数を変更して放送をする予定です。送信アンテナ（放送局、中継局）が該当地域に新しく設置された場合にも、リパッキングが行われる事があります。このメッセージが表示された場合は次ページの説明をお読みになり、手順に沿って操作してください。

故障かな！？と思ったらつづき

このメッセージが表示された場合は下記の説明をお読みになり、手順にそって操作してください。

● 電源をつけたとき画面中央付近に次のようなメッセージが表示されることがあります。



10秒間表示

お住まいの地域の放送局が **** 年 ** 月 ** 日～ **** 年 ** 月 ** 日に
変更されている可能性があります。受信できないチャンネルが
ある場合は、チャンネル設定を行ってください。

10秒間表示

このメッセージは数日間電源を入れた際に表示されます。
表示をキャンセルしたい場合は【戻る】ボタンを押してください。

この2つのメッセージは、10秒間ずつ表示した後に自動的に消えますが、2日間は電源を入れるたびに再表示してお知らせします。

再表示させないためには、このメッセージの内容をご理解いただいたうえで、リモコンの戻るボタンを押していただくと、再び表示されることはありません。

◆このメッセージ表示は放送局からの全受信機に向けた更新データ（周波数リストや変更情報などのお知らせ）を受信すると自動的に表示されます。
メッセージが表示された場合は次の点を確認してください。

メッセージ表示後に受信できないチャンネルが出来てしまった場合

本書18ページ「チャンネルを設定する-受信チャンネル自動設定」をご覧になり、再びチャンネルスキャンをおこなってください。

メッセージ表示後にすべてのチャンネルが問題なく受信できている場合

チャンネルスキャンを行なう必要はありません。
そのままの設定でお使いください。

2011年7月のアナログ放送終了に向けて、新たな中継局や放送局の開局に伴う周波数の変更がおこなわれ、更新データが頻繁に放送される可能性があります。
更新データが頻繁に放送された場合は、その都度メッセージが表示されます。
メッセージ表示は周波数の変更などに気づかず、突然チャンネルが視聴できなくなるという事態を避ける為の重要なお知らせです。

地上デジタル放送のチャンネル一覧表

●地上デジタル放送のリモコンチャンネルを、地域別に表示してあります。
※他地域の放送を受信した場合、チャンネルと放送局名が異なることがあります。
●リモコンの数字ボタン1~12で直接選局ができます（「地域設定」「チャンネル自動・追加設定」を行ってください）。

地域	リモコンボタン	物理チャンネル	放送局名
北海道（旭川）	1	19	ＨＢＣ旭川
	2	13	ＮＨＫ教育　旭川
	3	15	ＮＨＫ総合　旭川
	5	23	ＳＴＶ旭川
	6	14	ＨＴＢ旭川
	7	21	ＴＶＨ旭川
	8	25	ＵＨＢ旭川
北海道（釧路）	1	45	ＨＢＣ釧路
	2	29	ＮＨＫ教育　釧路
	3	33	ＮＨＫ総合　釧路
	5	31	ＳＴＶ釧路
	6	36	ＨＴＢ釧路
	7	47	ＴＶＨ釧路　※
	8	43	ＵＨＢ釧路
北海道（北見）	1	32	ＨＢＣ北見
	2	23	ＮＨＫ教育　北見
	3	30	ＮＨＫ総合　北見
	5	29	ＳＴＶ北見
	6	31	ＨＴＢ北見
	7	25	ＴＶＨ北見　※
	8	33	ＵＨＢ北見
北海道（帯広）	1	19	ＨＢＣ帯広
	2	13	ＮＨＫ教育　帯広
	3	15	ＮＨＫ総合　帯広
	5	21	ＳＴＶ帯広
	6	23	ＨＴＢ帯広
	7	17	ＴＶＨ帯広　※
	8	25	ＵＨＢ帯広
北海道（札幌）	1	19	ＨＢＣ札幌
	2	13	ＮＨＫ教育　札幌
	3	15	ＮＨＫ総合　札幌
	5	21	ＳＴＶ札幌
	6	23	ＨＴＢ札幌
	7	14	ＴＶＨ札幌
	8	25	ＵＨＢ札幌
北海道（函館）	1	17	ＨＢＣ函館
	2	14	ＮＨＫ教育　函館
	3	18	ＮＨＫ総合　函館
	5	15	ＳＴＶ函館
	6	23	ＨＴＢ函館
	7	19	ＴＶＨ函館
	8	25	ＵＨＢ函館
北海道（室蘭）	1	22	ＨＢＣ室蘭
	2	16	ＮＨＫ教育　室蘭
	3	24	ＮＨＫ総合　室蘭
	5	31	ＳＴＶ室蘭
	6	20	ＨＴＢ室蘭
	7	26	ＴＶＨ室蘭
	8	33	ＵＨＢ室蘭

地域	リモコンボタン	物理チャンネル	放送局名
青森	1	28	ＲＡＢ青森放送
	2	13	ＮＨＫ教育　青森
	3	16	ＮＨＫ総合　青森
	5	32	青森朝日放送
	6	30	ＡＴＶ青森テレビ
岩手	1	14	ＮＨＫ総合　盛岡
	2	13	ＮＨＫ教育　盛岡
	4	18	テレビ岩手
	5	22	岩手朝日テレビ
	6	16	ＩＢＣテレビ
	8	20	めんこいテレビ
宮城	1	19	ＴＢＣテレビ
	2	13	ＮＨＫ教育　仙台
	3	17	ＮＨＫ総合　仙台
	4	24	ミヤギテレビ
	5	28	ＫＨＢ東日本放送
	8	21	仙台放送
秋田	1	15	ＮＨＫ総合　秋田
	2	13	ＮＨＫ教育　秋田
	4	17	ＡＢＳ秋田放送
	5	29	ＡＡＢ秋田朝日放送
	8	21	ＡＫＴ秋田テレビ
山形	1	14	ＮＨＫ総合　山形
	2	13	ＮＨＫ教育　山形
	4	16	ＹＢＣ山形放送
	5	18	ＹＴＳ山形テレビ
	6	20	テレビユー山形
	8	22	さくらんぼテレビ
福島	1	15	ＮＨＫ総合　福島
	2	14	ＮＨＫ教育　福島
	4	27	福島中央テレビ
	5	29	ＫＦＢ福島放送
	6	26	テレビユー福島
	8	25	福島テレビ

地域	リモコンボタン	物理チャンネル	放送局名
茨城	1	20	ＮＨＫ総合　水戸
	2	13	ＮＨＫ教育　東京
	4	14	日本テレビ
	5	17	テレビ朝日
	6	15	ＴＢＳ
	7	18	テレビ東京
	8	19	フジテレビジョン
	12	28	放送大学
栃木	1	27	ＮＨＫ総合　東京
	2	26	ＮＨＫ教育　東京
	3	29	とちぎテレビ
	4	34	日本テレビ
	5	17	テレビ朝日
	6	15	ＴＢＳ
	7	18	テレビ東京
	8	35	フジテレビジョン
	12	28	放送大学
群馬	1	27	ＮＨＫ総合　東京
	2	26	ＮＨＫ教育　東京
	3	19	群馬テレビ
	4	33	日本テレビ
	5	43	テレビ朝日
	6	36	ＴＢＳ
	7	45	テレビ東京
	8	42	フジテレビジョン
	12	28	放送大学
埼玉	1	27	ＮＨＫ総合　東京
	2	26	ＮＨＫ教育　東京
	3	32	テレビ埼玉
	4	25	日本テレビ
	5	24	テレビ朝日
	6	22	ＴＢＳ
	7	23	テレビ東京
	8	21	フジテレビジョン
	12	28	放送大学
千葉	1	27	ＮＨＫ総合　東京
	2	26	ＮＨＫ教育　東京
	3	30	千葉テレビ
	4	25	日本テレビ
	5	24	テレビ朝日
	6	22	ＴＢＳ
	7	23	テレビ東京
	8	21	フジテレビジョン
	12	28	放送大学

地域	リモコンボタン	物理チャンネル	放送局名
東京	1	27	ＮＨＫ総合　東京
	2	26	ＮＨＫ教育　東京
	4	25	日本テレビ
	5	24	テレビ朝日
	6	22	ＴＢＳ
	7	23	テレビ東京
	8	21	フジテレビジョン
	9	20	東京ＭＸテレビ
	12	28	放送大学
神奈川	1	27	ＮＨＫ総合　東京
	2	26	ＮＨＫ教育　東京
	3	18	ＴＶＫテレビ
	4	25	日本テレビ
	5	24	テレビ朝日
	6	22	ＴＢＳ
	7	23	テレビ東京
	8	21	フジテレビジョン
	12	28	放送大学
新潟	1	15	ＮＨＫ総合　新潟
	2	13	ＮＨＫ教育　新潟
	4	26	ＹｅＮＹテレビ新潟
	5	23	新潟テレビ21
	6	17	ＢＳＮ
	8	19	ＮＳＴ
山梨	1	21	ＮＨＫ総合　甲府
	2	23	ＮＨＫ教育　甲府
	4	25	ＹＢＳ山梨放送
	6	27	ＵＴＹ
長野	1	17	ＮＨＫ総合　長野
	2	13	ＮＨＫ教育　長野
	4	14	テレビ信州
	5	18	ＡＢＮ長野朝日放送
	6	16	ＳＢＣ信越放送
	8	15	ＮＢＳ長野放送

※TVHの中継局については、現在開局は未定です。（2008年12月現在）

地上デジタル放送のチャンネル一覧表 つづき

地域	リモコンボタン	物理チャンネル	放送局名
富山	1	28	ＫＮＢ北日本放送
	2	24	ＮＨＫ教育　富山
	3	27	ＮＨＫ総合　富山
	6	22	チューリップテレビ
	8	18	ＢＢＴ富山テレビ
石川	1	15	ＮＨＫ総合　金沢
	2	13	ＮＨＫ教育　金沢
	4	17	テレビ金沢
	5	23	北陸朝日放送
	6	14	ＭＲＯ
	8	16	石川テレビ
福井	1	19	ＮＨＫ総合　福井
	2	21	ＮＨＫ教育　福井
	7	20	ＦＢＣテレビ
	8	22	福井テレビ
静岡	1	20	ＮＨＫ総合　静岡
	2	13	ＮＨＫ教育　静岡
	4	19	静岡第一テレビ
	5	18	静岡朝日テレビ
	6	15	ＳＢＳ
	8	17	テレビ静岡
愛知	1	21	東海テレビ
	2	13	ＮＨＫ教育 名古屋
	3	20	ＮＨＫ総合 名古屋
	4	19	中京テレビ
	5	18	ＣＢＣ
	6	22	メ～テレ
	10	23	テレビ愛知
三重	1	15	東海テレビ
	2	13	ＮＨＫ教育 名古屋
	3	28	ＮＨＫ総合　津
	4	17	中京テレビ
	5	16	ＣＢＣ
	6	14	メ～テレ
	7	27	三重テレビ
岐阜	1	15	東海テレビ
	2	13	ＮＨＫ教育 名古屋
	3	29	ＮＨＫ総合　岐阜
	4	17	中京テレビ
	5	16	ＣＢＣ
	6	14	メ～テレ
	8	30	岐阜テレビ

地域	リモコンボタン	物理チャンネル	放送局名
滋賀	1	26	ＮＨＫ総合　大津
	2	13	ＮＨＫ教育　大阪
	3	20	ＢＢＣびわ湖放送
	4	16	ＭＢＳ毎日放送
	6	15	ＡＢＣテレビ
	8	17	関西テレビ
	10	14	よみうりテレビ
京都	1	25	ＮＨＫ総合　京都
	2	13	ＮＨＫ教育　大阪
	4	16	ＭＢＳ毎日放送
	5	23	ＫＢＳ京都
	6	15	ＡＢＣテレビ
	8	17	関西テレビ
	10	14	よみうりテレビ
大阪	1	24	ＮＨＫ総合 大阪
	2	13	ＮＨＫ教育 大阪
	4	16	ＭＢＳ毎日放送
	6	15	ＡＢＣテレビ
	7	18	テレビ大阪
	8	17	関西テレビ
	10	14	よみうりテレビ
兵庫	1	22	ＮＨＫ総合 神戸
	2	13	ＮＨＫ教育 大阪
	3	26	サンテレビ
	4	16	ＭＢＳ毎日放送
	6	15	ＡＢＣテレビ
	8	17	関西テレビ
	10	14	よみうりテレビ
奈良	1	31	ＮＨＫ総合 奈良
	2	13	ＮＨＫ教育 大阪
	4	16	ＭＢＳ毎日放送
	6	15	ＡＢＣテレビ
	8	17	関西テレビ
	9	29	奈良テレビ
	10	14	よみうりテレビ
和歌山	1	23	ＮＨＫ総合 和歌山
	2	13	ＮＨＫ教育 大阪
	4	16	ＭＢＳ毎日放送
	5	20	テレビ和歌山
	6	15	ＡＢＣテレビ
	8	17	関西テレビ
	10	14	よみうりテレビ

地域	リモコンボタン	物理チャンネル	放送局名
鳥取	1	38	日本海テレビ
	2	20	ＮＨＫ教育 鳥取
	3	29	ＮＨＫ総合 鳥取
	6	31	ＢＳＳテレビ
	8	36	山陰中央テレビ
島根	1	41	日本海テレビ
	2	19	ＮＨＫ教育 松江
	3	21	ＮＨＫ総合 松江
	6	45	ＢＳＳテレビ
	8	43	山陰中央テレビ
岡山	1	32	ＮＨＫ総合 岡山
	2	45	ＮＨＫ教育 岡山
	4	20	ＲＮＣ西日本テレビ
	5	30	ＫＳＢ瀬戸内海放送
	6	21	ＲＳＫテレビ
	7	18	テレビせとうち
	8	27	ＯＨＫテレビ
広島	1	14	ＮＨＫ総合 広島
	2	15	ＮＨＫ教育 広島
	3	18	ＲＣＣテレビ
	4	19	広島テレビ
	5	22	広島ホームテレビ
	8	23	ＴＳＳ
山口	1	16	ＮＨＫ総合 山口
	2	13	ＮＨＫ教育 山口
	3	18	ＴＹＳテレビ山口
	4	20	ＫＲＹ山口放送
	5	26	ＹＡＢ山口朝日
徳島	1	31	四国放送
	2	40	ＮＨＫ教育 徳島
	3	34	ＮＨＫ総合 徳島
香川	1	24	ＮＨＫ総合 高松
	2	13	ＮＨＫ教育 高松
	4	15	ＲＮＣ西日本テレビ
	5	17	ＫＳＢ瀬戸内海放送
	6	21	ＲＳＫテレビ
	7	18	テレビせとうち
	8	27	ＯＨＫテレビ
愛媛	1	16	ＮＨＫ総合 松山
	2	13	ＮＨＫ教育 松山
	4	20	南海放送
	5	17	愛媛朝日
	6	21	あいテレビ
	8	27	テレビ愛媛
高知	1	15	ＮＨＫ総合 高知
	2	13	ＮＨＫ教育 高知
	4	17	高知放送
	6	19	テレビ高知
	8	21	さんさんテレビ

地域	リモコンボタン	物理チャンネル	放送局名
福岡	1	31	ＫＢＣ九州朝日放送
	2	22	ＮＨＫ教育 福岡
	3	28	ＮＨＫ総合 福岡
	4	30	ＲＫＢ毎日放送
	5	32	ＦＢＳ福岡放送
	7	26	ＴＶＱ九州放送
	8	34	ＴＮＣテレビ西日本
佐賀	1	33	ＮＨＫ総合 佐賀
	2	25	ＮＨＫ教育 佐賀
	3	44	ＳＴＳサガテレビ
長崎	1	15	ＮＨＫ総合 長崎
	2	13	ＮＨＫ教育 長崎
	3	14	ＮＢＣ長崎放送
	4	18	ＮＩＢ長崎国際テレビ
	5	19	ＮＣＣ長崎文化放送
	8	20	ＫＴＮテレビ長崎
熊本	1	28	ＮＨＫ総合 熊本
	2	24	ＮＨＫ教育 熊本
	3	41	ＲＫＫ熊本放送
	4	47	ＫＫＴくまもと県民
	5	49	ＫＡＢ熊本朝日放送
	8	42	ＴＫＵテレビ熊本
大分	1	15	ＮＨＫ総合 大分
	2	14	ＮＨＫ教育 大分
	3	22	ＯＢＳ大分放送
	4	34	ＴＯＳテレビ大分
	5	32	ＯＡＢ大分朝日放送
宮崎	1	14	ＮＨＫ総合 宮崎
	2	13	ＮＨＫ教育 宮崎
	3	16	ＵＭＫテレビ宮崎
	6	15	ＭＲＴ宮崎放送
鹿児島	1	40	ＭＢＣ南日本放送
	2	18	ＮＨＫ教育 鹿児島
	3	34	ＮＨＫ総合 鹿児島
	4	29	ＫＹＴ鹿児島讀賣ＴＶ
	5	36	ＫＫＢ鹿児島放送
	8	42	ＫＴＳ鹿児島テレビ
沖縄	1	17	ＮＨＫ総合 那覇
	2	13	ＮＨＫ教育 那覇
	3	14	ＲＢＣテレビ
	5	16	ＱＡＢ琉球朝日放送
	8	15	沖縄テレビ（ＯＴＶ）

お知らせ

・リモコンボタンは、チャンネルサーチによって数字ボタンへ割り当てられる番号です。
・物理チャンネルとは、実際に送信されているUHFのチャンネル番号(チャンネル13～62)のことです。
・お住まいの地域と異なる地域コードを設定した場合は、チャンネルスキャン時に、受信可能なチャンネルがリモコンボタンに割り当てられない場合があります。
（※チャンネルスキャン完了後、手動で割り当てることは可能です。）
・複数の送信所の電波が受信できる環境で、それぞれから同一の放送局電波を受けた場合は、受信レベルの高い電波を優先して割り当てます。

地上デジタル放送について

●地上デジタル放送は、最新のデジタル技術を活用することによって 高画質（ハイビジョン放送）多チャンネルのテレビ放送や、デジタルラジオ放送、データ放送などさまざまな魅力を満載しています。

●地上デジタル放送は音声信号を効率よく圧縮して放送することができるため（デジタルオーディオ：MPEG-2ACC方式）、原音に近い高音質な音声をお楽しみいただけます。さらに5.1チャンネルステレオのサラウンド放送も行われています。

テレビ放送の種類

●デジタルハイビジョン放送を中心に、４種類の放送フォーマットがあります。

	デジタルハイビジョン放送		プログレッシブ放送	通 常 放 送
放送フォーマット	1125i(1080i)放送	750p(720p)放送	525p(480p)放送	525i(480i)放送
走査線の数	1125本(有効1080本)	750本(有効720本)	525本(有効480本)	525本(有効480本)
走査方式	インターレース（飛越し走査）	プログレッシブ（順次走査）	プログレッシブ（順次走査）	インターレース（飛越し走査）
画面サイズ	16：9	16：9	16：9、4：3	16：9、4：3

●デジタルハイビジョン放送1番組と、通常放送３番組程度を時間帯によって切り替えて放送するマルチチャンネル放送もあります。

地上デジタル放送について

●地上デジタル（テレビジョン）放送とは？

地上波のＵＨＦ帯を使用した地上デジタル放送のことです。
（この取扱説明書では「地上デジタル放送」と略して記載しています。）
現在行われている地上アナログ放送は、2011年７月24日に放送終了し地上デジタル放送へ移行します。

●地上デジタル放送の特徴

これまでの地上アナログ放送と比較すると、以下のメリットがあります。

１．デジタルハイビジョン放送を中心とした高画質・多チャンネル放送
２．高音質放送（MPEG-2 ACC方式）
３．ゴーストの影響を受けにくいため、画像が鮮明

●地上デジタル放送を受信するには

本機のほかに、地上デジタル放送に対応したUHFアンテナが必要です。

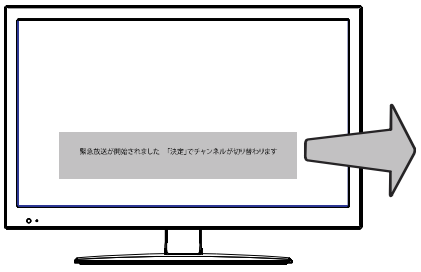
緊急警報放送（EWS）について

●緊急警報放送(ＥＷＳ)とは、災害発生をいち早く知らせるための放送です。
地震・津波などの災害時に、放送波に特殊な信号を割り込ませることでテレビ／ラジオなどの受信機から警報音（ピロピロという音）を発し、 災害の発生と災害情報をいち早く知らせる放送です。

●人命や財産に重大な影響のある次の３つの場合に限って放送されます
1）東海地震の警戒宣言が発せられた場合
2）津波警報が発せられた場合
3）地方自治体の長から、避難命令などの放送の要請があった場合

●本機は地震や津波などの災害発生時に発信される緊急警報放送の文字スーパー表示に対応しています。

●緊急警報放送による自動起動および米軍基地周辺のAFN(米軍放送)の緊急告知放送には対応しておりません。



緊急放送が開始されました 「決定」でチャンネルが変わります

緊急警報放送(ＥＷＳ)の受信すると上記のメッセージ（文字スーパー）が画面上へ表示されます。

・地上デジタル放送視聴中にのみメッセージが表示されます。
・電源オフ(待機状態)時に緊急警報放送を受信しても、テレビは起動しません。（自動起動機能はありません）
・チャンネルを切り換えてもこの表示は消えません。

緊急警報放送受信時の操作については３５ページをご覧ください。

仕　　様

種　　類		液晶テレビ
型　　名		LCU1902GⅡ
電　　源		電源入力：AC100V、50/60Hz 共用 電源出力：DC 12V(専用　ACアダプター使用)
消　費　電　力		23W（待機時：0.55W）
省エネルギー区分名		DK
外形寸法	幅	443mm
	高さ （スタンド含む）	276mm (320mm)
	奥行 （スタンド含む）	46mm (160mm)
質量（スタンド含む）		2.7Kg
液晶パネル	画　面　サ　イ　ズ	19V型 409mm(H)X230mm(V)／対角４７０mm
	駆　動　方　法	TFT アクティブマトリクス
	画　素　数	1366(H)X768(V)
	応　答　速　度	5ms (typ, On/Off)
	視 野 角(標 準 値)	左右約170°/上下約160°
	輝　度(最　大　値)	250 cd/m^2
	コントラスト比(標準値)	1000：1
音　声　出　力		合計5W（2.5W+2.5W） @4Ω THD≦10%
ス　ピ　ー　カ　ー		3cm X 7cm 2個
受信チャンネル		地上デジタル：UHF(13～62)、CATVパススルー対応
入力・出力端子	ビデオ入力	映像：1V(p-p)、75Ω、負同期 音声：500mV(rms)、22kΩ以上（インピーダンス）
	ヘッドホン端子(出力)	ヘッドホン 端子口径3.5mmステレオミニジャック、適合インピーダンス8Ω～32Ω
	ＰＣ入力	D-SUB 15ピン、RGB信号：0.7V(p-p)、75Ω、同期信号：TTLレベル、2.2kΩ 音声：口径3.5mmステレオミニジャック 500mV 22kΩ以上（インピーダンス）
		対応入力解像度：61ページをご参照ください 640X480@60Hz、800X600@60Hz、1024X768@60Hz、1360 X768@60Hz
	HDMI 入力 (DVI)	ＨＤＭＩ Ver. 1.1 準拠 対応入力解像度：480i、480p、720p、1080i
		ＤＶＩ－ＨＤＭＩ対応入力解像度：61ページをご参照ください 640X480@60Hz、800X600@60Hz、1024X768@60Hz、1360 X768@60Hz
	ＤＣ電源入力	DC 12V（内径2.5mm DC ジャック）
リ　モ　コ　ン		DC３V （単4形乾電池、2個）
キャビネット材質		プラスチック
使　用　条　件		周囲温度：0℃～35℃、相対湿度：20%～80%（結露のないこと）
スタンド角度調節範囲		上約10°、下約5°（手動）
付　　属　　品		リモコン 1個、単4形乾電池 2個、B-CAS カード 1枚、専用ACアダプター 1個、AC電源コード 1本、取扱説明書 1部、スタンドプレート 1個、ネジ 3個、ドライバー 1本、保証書 1枚

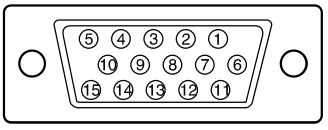
1）ＨＤＭＩの入力では主にＰＣＭのみの出力に対応していますので、音声が聞こえない場合は接続する機器側の音声出力設定をＰＣＭに変更してください。
2）本機にはモデム/ＬＡＮ端子等が搭載されておりませんので、データ放送や双方向番組サービス、連動データ放送はご利用できません。あらかじめご了承ください
3）本機は、電子番組表（EPG：3日分）と字幕・文字スーパーに対応しております。
4）本製品の仕様は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

仕　　様つづき

対応信号タイミング（ＰＣモード）

項目	画面解像度	水平周波数	垂直周波数	ドット周波数	Hp/Vp	DVI-D
1	640×480	31.469kHz	59.940Hz	25.175MHz	－／＋	O
2	640×480	37.861kHz	72.809Hz	31.500MHz	－／－	O
3	640×480	37.500kHz	75.000Hz	31.500MHz	－／－	O
4	800×600	35.156kHz	56.250Hz	36.000MHz	＋／＋	O
5	800×600	37.879kHz	60.317Hz	40.000MHz	＋／＋	O
6	800×600	48.077kHz	72.188Hz	50.000MHz	＋／＋	O
7	800×600	46.875kHz	75.000Hz	49.500MHz	＋／＋	O
8	1024×768	47.390kHz	59.990Hz	68.250MHz	＋／－	O
9	1024×768	48.363kHz	60.004Hz	65.000MHz	－／－	O
10	1024×768	56.476kHz	70.069Hz	75.000MHz	－／－	O
11	1024×768	60.023kHz	75.029Hz	78.750MHz	＋／＋	O
12	1280×768	47.776kHz	59.870Hz	79.500MHz	－／＋	O
13	1280×1024	63.981kHz	60.000Hz	108.000MHz	＋／＋	O
14	1360×768	47.720kHz	59.799Hz	84.750MHz	－／＋	O

■ ＰＣ信号入力端子のピン配列
（ミニD-ｓｕｂ　15ピン）



番号	機能	番号	機能
1	赤映像信号入力	9	+5Ｖ
2	緑映像信号入力	10	ＧＮＤ
3	青映像信号入力	11	N.C.
4	N.C.	12	ＤＤＣデータ
5	ＧＮＤ	13	水平同期信号用入力
6	赤映像信号用ＧＮＤ	14	垂直同期信号用入力
4	緑映像信号用ＧＮＤ	15	ＤＤＣクロック
8	青映像信号用ＧＮＤ		

索　引

数字・ABC順

３桁入力.....36
B-ＣＡＳカードを入れる.....11
B-ＣＡＳカード番号を見る.....30
ＤＶＩ端子付の機器をつなぐ.....15
EWS.....59
ＨＤＭＩ端子付の機器をつなぐ.....15
ＰＣ入力時の画面調整.....46
ＵＨＦアンテナ入力端子.....13

ア行

アンテナ接続.....13
明るさ.....38
音を一時的に消したい.....51
映像の設定.....37
映像端子.....14
オフタイマー.....52
音声多重放送を楽しむ.....44
音声切換.....28
暗証番号設定.....26

カ行

カーソル.....7
カードテストをする.....33
画面表示を見る.....51
画面サイズの切り替え.....45
各種情報表示.....30
壁掛け金具の取り付け孔位置.....6
緊急警報放送.....59

サ行

スタンドの取り付けかた.....6
受信チャンネル自動設定.....19
受信チャンネル追加設定.....21
受信チャンネルスキップ.....23
受信レベル.....24
修理を依頼される前.....53
省エネ設定.....47
数字ボタン.....7
専用ＡＣアダプター.....12
全設定消去.....34
字幕・文字スーパーの設定.....27

タ行

ダウンロードを行う.....25
対応信号.....61
地域設定.....18
地上デジタル放送のチャンネル一覧表.....57
チャンネル番号などを知りたい.....51
電源コード.....12
電源ボタン.....9

ナ行

入力切換(ボタン).....7

ハ行

番組表を見る.....30
番組取得設定.....29
番組情報を見る.....29
ビデオやＤＶＤレコーダーなどをつなぐ.....14
ビデオ入力.....14
パソコンをつなぐ.....17

マ行

メールを見る.....32
メニュー.....7
メッセージ一覧表.....54

ラ行

リモコンに乾電池を入れる.....10
リモコン.....7
リモコン受光部.....8
リモコン設定.....22

株式会社 ユニテク

サービスセンター

電　話　（03）5387-1342
営業時間　　9:00～12:00
　　13:00～17:00
土日、祝日および年末年始は、お休みとなります